

日本海海戰記念塔建設會

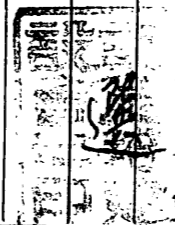
昭和四年七月八日
日本海々戰記念塔建設會

理事 織田

燕西戰爭報御中

記念塔寄附之旨ニテ

首題ニ関シテ貴館御一統ハ報會報上日
御賛同ハ上外務省才ニ課長管如之即
ヲ通シテ御寄附御某情厚ク御禮ニ
仕リ候就而異儀旨本紙ヲ以テ御禮ニ
度別紙受領稟相添工厚御禮申上候也



日本海海戰記念塔建設會

昭和四年七月八日
日本海々戰記念塔建設會

理事 織田

燕西戰爭報御中

記念塔寄附之旨ニテ

首題ニ関シテ貴館御一統ハ報會報上日
御賛同ハ上外務省才ニ課長管如之即
ヲ通シテ御寄附御某情厚ク御禮ニ
仕リ候就而異儀旨本紙ヲ以テ御禮ニ
度別紙受領稟相添工厚御禮申上候也



I-0403

日本海海戰記念塔建設會

昭和四年七月八日

日本海々戰記念塔建設會

理事 織田

九十九號御中

記念塔宮附之圖

首題ニ関シテ貴館御一統ハ弊會趣旨
御賛同ノ上外務省才ニ課長管轄ノ下
ヲ通シ淨財御寄附後ハ御事情厚ク
仕リ候節果儀々存紙ヲ以テ御禮ニ代
度別紙受領票相添工有テ御禮申上候也



日本海海戰記念塔建設會

昭和四年七月八日

日本海々戰記念塔建設會

理事 織田

九十九號御中

記念塔宮附之圖

首題ニ関シテ貴館御一統ハ弊會趣旨
御賛同ノ上外務省才ニ課長管轄ノ下
ヲ通シ淨財御寄附後ハ御事情厚ク
仕リ候節果儀々存紙ヲ以テ御禮ニ代
度別紙受領票相添工有テ御禮申上候也



I-0403

日本海海戰記念塔建設會

昭和四年七月八日

日本海々戰記念塔建設會

理事 織田

寄奉御中

記念塔寄附

首題 閣下貴館御一統ハ華會趣 上日ニ

御賛同ノ上外致者才ニ課長官私ニ即氏

ヲ通シ淨賊御寄附被下御共情厚ク拜謝

仕リ候就而果々候下本紙ヲ以テ御禮ニ代工

度別紙受領票相係ニ厚御禮申候也

日本海海戰記念塔建設會

昭和四年七月八日

日本海々戰記念塔建設會

理事 織田

寄奉御中

記念塔寄附

首題 閣下貴館御一統ハ華會趣 上日ニ

御賛同ノ上外致者才ニ課長官私ニ即氏

ヲ通シ淨賊御寄附被下御共情厚ク拜謝

仕リ候就而果々候下本紙ヲ以テ御禮ニ代工

度別紙受領票相係ニ厚御禮申候也

I-0403

日本海海戰記念塔建設會

昭和四年七月八日

日本海々戰記念塔建設會

理事 織田

在品印事館御中

記念塔寄附ニ関シテ

首題ニ関シテ貴館御一統ハ華會趣旨ニ

御賛同ノ上外致者才ニ課長管官和之郎氏

ヲ通シ淨殿御寄附被下御共情厚ク拜謝

仕リ候就而異々候下本紙ヲ以テ御禮ニ代工

度別紙受領票相作ニ厚御禮申ス候也

日本海海戰記念塔建設會

昭和四年七月八日

日本海々戰記念塔建設會

理事 織田

在品印事館御中

記念塔寄附ニ関シテ

首題ニ関シテ貴館御一統ハ華會趣旨ニ

御賛同ノ上外致者才ニ課長管官和之郎氏

ヲ通シ淨殿御寄附被下御共情厚ク拜謝

仕リ候就而異々候下本紙ヲ以テ御禮ニ代工

度別紙受領票相作ニ厚御禮申ス候也

I-0403

肅啓時下益御清勝慶賀ノ至リニ奉存候陳者豫而御高配ニ
因リ鎮海兜山山巔ニ日本海海戦記念塔建設中ノ處今般工
事竣成致候ニ就テハ本月二十七日第二十五回日本海海戦
記念日ヲ好機トシ同日(月曜日)正午同所ニ於テ除幕式舉行
致候間御繰合セ御貴臨ノ榮ヲ得度御案内申上候
昭和四年五月十日

日本海海戦記念塔建設會長

須

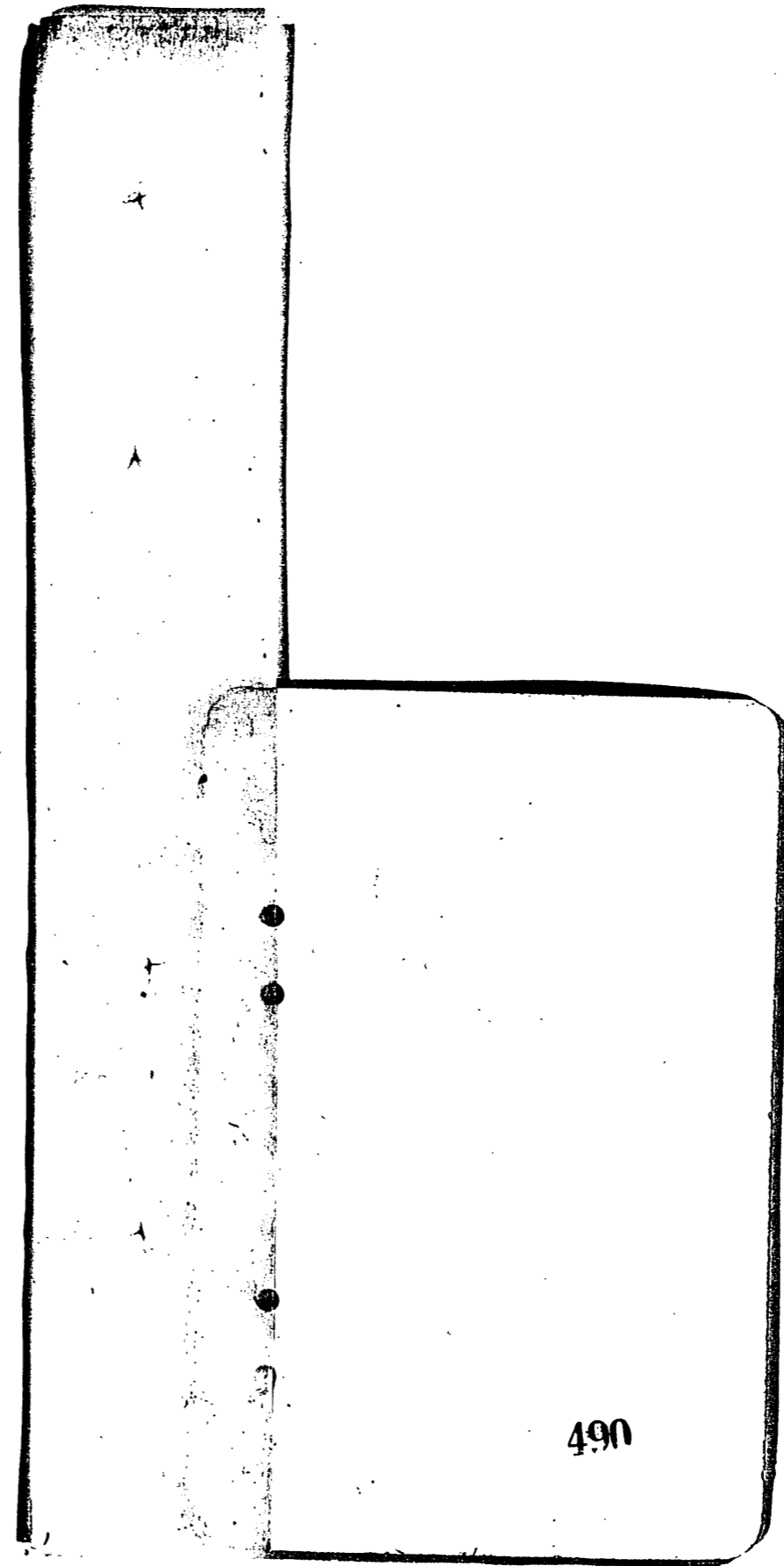
藤

素

外務省通信局
菅和二郎 殿

式場ニ御來臨ノ際掛頁ニ本狀又ハ御名刺ヲ御示被下度候

I-0403



490

I-0403



611A. 413

通商局

普通第一六七號

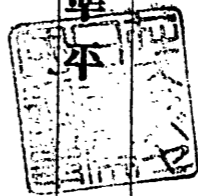
昭和四年七月十八日

✓金券添付

在スラバヤ

領事

姉齒準平



外務大臣 野村胡堂 閣下 敬啟

日本海軍戦記念塔建設費寄附金
募集二箇元付

本件二箇元付本年三月二十五日附通二普通通合券
三〇四号貴信作来示ニ基テ直ニ貴局管内



昭和四年八月六日 接受

別紙添付
金券預リ

CI

7496 54

I-0403

各地日本人會ヲ通ジ本件籌附金幕
 集ノ趣旨一假在留邦人ニ因知方取計
 置テ先トコト今日迄既ニ甘藷復五百七十四
 省七拾五仙也ノ高別紙甲早及乙早ノ
 二軍ノ應幕有之タニ甘藷復ニ相高
 元邦復金四百九拾六円五拾四錢也ノ高
 (別紙銀行ノ為替相付ニ付之タニ先別紙金
 和貨是百円ニ付甘藷復是百十五省ノ為替) 先別紙金
 考アリ以テ送付ス 印査收ノ上ノ取中取計
 相成度以故申一進ス

011

I-0403

Handwritten notes and stamps at the top of the document, including a date stamp "1914.7.17" and other illegible markings.

1111

公文書案

文書課長

(原議用紙甲)

文書課發送 昭和四年七月十日發送済

淨書

正(原稿) 一才(淨書)

主 通商局長

任 通商局長

(起草昭和四年七月十七日)

通 第一番通 半公文

昭和四年七月拾九日附

附屬書 通

受信 朝鮮慶尚南道鎮海
 日海軍司令部塔建設會理事
 人名 織田 選

發信 通商局二課長
 人名 菅和 三郎

件名 (日本海軍戦記司令部塔建設寄附金)
 募集二関之件

名 込 綴

拜啓陳者七月十日付貴信ヲ以テ御申越、趣テ承致候依而
 御送付越、受領證ハ夫々在外公館宛送付スト共ニ寄附
 者、謝意傳達方申進置候處五月十五日付第一回送付分
 (吉田次官リ別紙書通)

公文書案

外務省

(原議用紙乙)

金参百九拾八圓参拾錢ニ對シテ受領證未着ニ付右御取調、
 上至急御送付方御取計相煩度此段御依頼申上候 敬具
 追而在外領事館宛謝状ハ御手紙ニ付奉御添付ス
 候
 (別紙書由次官於在外公館宛に信書其建送付ノ下)

外務省

8.2

3.2

MEMO
The Yokohama Specie Bank, Limited.
 Sourabaya, JUL 18 1929

Foreign Currency 外 國 貨	Rate 相 場	Florin 關 貨
¥ 496.54	115 3/4	574.75

YOKOHAMA SPECIE BANK
 JUL 18 1929
 SOURABAYA

文書課長

文書課發送

昭和四年七月十九日發送

淨書

正(原稿)

附屬書

通

(原議用紙甲)

主任 澤田 昭
 昭和四年七月十九日 附

選 領海
 塔建設會理事

發信 通商局二課長
 人名 菅 和 三 郎

建設寄附金

名 込 額

付貴信ヲ以テ御申越、趣テ承致候依而
 夫々在外公館宛送付スルト共ニ寄附
 (吉田次官ヨリ別紙書通)

者、謝意傳達方申進置候處五月十五日付第一回送付分

公 信 案

外 務 省

(原議用紙乙)

金參百九拾八圓參拾錢ニ對スル受領證未着ニ付右御取調、
 上至急御送付方御取計相煩度此段御依頼申上候 敬具
 追而各領事館宛謝状、御手數、付奉御添付、
 候
 (別紙書通、各在外公館宛送付、其様御付、下)

外 務 省

公 信 案

文書課長

昭和四年七月五日 發送済

淨書

正校(原稿)

(淨書)

會計課

通商局長了

大正昭和四年七月拾九日附

附屬書 通

主 任 通商局長了

主 任 通商局長了

正校(原稿)

(淨書)

朝鮮慶尚南道知事

發信 通商局長

須藤 素 完

發信 菅 和 三 郎

件名 (日本海々戰記念塔建設寄附金募集案内件)

名 込 綴

拜啓陳者六月二十四日付拙信ヲ以テ日本海々戰記念塔建設寄附金(六月二十日迄ニ本省着ノ分)一摺及送付置候處今般更ニ左記在外公館ヨリ夫々寄附金取纏メ送付越スルニ付寄附

公 信 案

外 務 省

(原議用紙乙ナ)

銀行金計課
大正四年七月五日

者名簿相添(右寄附金合計貳百七拾參圓參拾七錢也)

另用銀行小切手ヲ以テ別添及送付候ニ付御查收相成度

候 敬具

記

在中華民國成都總領事館 金壹圓五拾五也

海龍總領事館分館 金貳拾壹圓五拾五也

在羅馬尼亞公使館 金壹圓也

外 務 省

3.2

I-0403

次方

413

文書課長		文書課發送		昭和四年七月廿日發送	
主 通商局長		主 通商局長		主 通商局長	
受信 人名		發信 人名		附屬書 通	
別紙一通		吉田次官		附屬書 通	
件名 日本海軍戦況多塔建設等附金		名込紙		昭和四年七月廿日	
鷹幕者等謝意傳達方件				附屬書 通	
最表ニ貴官管及居留民有志ヨリ鷹幕者等謝意傳達金有之				附屬書 通	
件寄附金ハ早速同會長朝鮮慶尚南道知事一須藤素完				附屬書 通	
及送付置ル處今般同會理事ヨリ別紙領收書送付				附屬書 通	

公文書案

附屬物同封

(原議用紙甲)

19 161

3.2

在中米パナマ領事館へ金八拾四圓九拾六事也

在紐育領事館へ金壹百六拾四圓四拾壹事也

計金貳百七拾叁圓叁拾七錢也

追而本信迄五回送金分御接到一有無爲念御回報

相煩度

(原議用紙乙)

3.2

I-0403

越ト共ニ寄附者各位ニ謝意傳達方依頼越スニ付右引外御取
計相成度ニ

追而本件記念塔ハ五月二十七日竣成除幕式ヲ舉行シタル
趣ナリ當リ高直一葉添付ス

✓(領收書及高直一葉夫ニ添付ノコト)

(原議用紙乙)+

外務省

3.2

別紙	在土芦田代理大使	在牛莊 荒川領事
在漢堡 山路總領事代理	在重慶 杉本事務代理	在上海 上村總領事代理 (領收書ニ葉)
在蘭頁 久我領事代理	在宜昌 浦川領事代理	
在長春 永井領事	在河内 里澤總領事	
在武市 平塚領事	在瑞典 加藤代理大使	
在吉備 茂垣領事代理	在重慶 佐々木總領事	
在漢口 桑島總領事		

(原議用紙乙)+

外務省

3.2

在 ^{ウチ} 木下 ^ノ 子島田領事	在長沙 糟谷領事	在 ^{ウチ} 通化 ^{平井事務部長} 櫻井台成主任	在 ^{ウチ} 蕪湖 柴崎領事	在 ^{ウチ} 沙市 堀城事務代理	在 ^{ウチ} 九江 河野領事代理	在 ^{ウチ} 芝罘 町田事務代理
在 ^{ウチ} 安東 ^{藤中} 領事	在 ^{ウチ} 鉄嶺 近藤領事	在 ^{ウチ} 琿春 望月分館主任	在 ^{ウチ} 汕頭 別府領事	在 ^{ウチ} 廣東 矢野總領事	在 ^{ウチ} 西貢 佐島領事	計二十七館

(原議用紙乙)

外務省

I-0403

通商局

會公第一二五號

昭和四年七月二十日

在サンパウロ

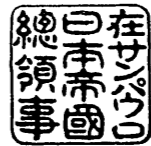
總領事

中島

清

一

郎



外務次官 吉田 茂 殿

日本海々戦紀念塔建設寄附金送付ノ件

主 題ノ件ニ關シ本年三月三十五日付貴信通ニ普通合第三〇四號ヲ以テ御
申越ノ趣敬承 當館告示ニ依リ別紙ノ通應募者有之タルニ付右伯貨計參
百七拾八ミルレ一ス此邦貨實送額一金九拾七圓拾七錢也別添リ才正金爲
替手形壹葉ヲ以テ送付致スニ付可然御取計相成度シ

611a.4121

昭和四年九月拾壹日

附屬添付

金券預リ

Consulado Geral do Japão - S. Paulo

追而別表應募者ノ住所ハ記入セサルニ付本件ニ關シ御用ノ際ハ全部當
館氣付ト致サレ度爲念申添フ

Consulado Geral do Japão - S. Paulo

I-0403

7

昭和四年七月二十日

理事 織田 謙

若尾通商の才を課長に

親念塔寺財金整理

首題下件之章果日未廣之節既忠有候

レ申上候 彼原より申上候事は申上候事

申上候事 或は是れ等之類多し其七錢之計

申上候事 係付物に依りて申上候事

此等係付物に依りて

高野甲申字一併に申上候事

記

I-0403

將口付了知有符...
 五月五日...
 四月五日...
 三月五日...
 二月五日...
 一月五日...
 十二月五日...
 十一月五日...
 十月五日...
 九月五日...
 八月五日...
 七月五日...
 六月五日...
 五月五日...
 四月五日...
 三月五日...
 二月五日...
 一月五日...

五
 四
 三
 二
 一

五
 四
 三
 二
 一

I-0403

文書課長 八橋

公 信

附屬物同封

(原議用紙甲)ナ

文書課發送

昭和四年八月貳日

發送済

淨書

正校(原稿)

繕寫

(淨書)

繕寫

主 通商局長

任 通商局長

昭和四年七月二十九日

通二 秘密

八廿二

昭和四年八月壹日

附屬書 通

1 24

受 信 人名 別紙一通

發 信 人名 吉田次官

件名 日本海軍記念倉塔建設寄附金
應募者ニ對シ謝意傳達ノ件

名 込 綴

是表ニ貴官等官内居留民有志ヨリ募集ノ上御送金アリヌル

本件寄附金ハ早速同會長朝鮮慶尚南道知事須藤

素完及送付置カ處今般同會理事ヨリ別紙領收證

公 信 案

外 務 省

3.3

611a. 413

送付越ト共ニ寄附者各位ニ對シ謝意傳達方依頼越ヌルニ付
右可然御取計相成度

(原議用紙乙)ナ

追テ本件記念倉塔ハ五月十七日竣成除幕式ヲ舉行シタ

ル越キリ當日ノ喜慶ノ葉添付ス

(領收證及喜慶ノ葉夫々添付ノ下)

外 務 省

3.3

I-0403

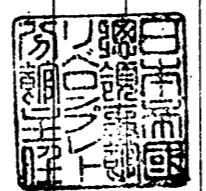
114.412

普通第六四號
 昭和四年八月九日

在リヘロンブレト
 帝國總領事館分館主任
 外務書記生 古關富彌

外務次官吉田茂殿

日本海々戰記念塔建設寄附金送附件
 本件ニ関シ本年三月二十五日附通ニ普通合第三〇四
 號ヲ以テ御表示ノ趣委細敬承仍テ在留邦人一般
 へ右ノ趣傳達シタル處別紙寄附者名簿表示ノ



通商局

第二號

昭四年九月廿六日接受

金券預

12

在張家口 山崎領事	在蘇州 岩崎領事
在滿洲里 田中領事	在博山 佐々木出張所主任
在齊魯路 清水領事	在或都 樽松總領事代理
在農安 高野事務取扱	在海龍 坂内分館主任
在新民府 瀧山副領事	在羅馬尼亞 張問代理公使
在局子街 田中副領事	在ハナマ 若林領事
在頭道溝 毛利分館主任	在紐育 内山總領事代理

外務省

3.2

14

(原議用紙乙)

611A.413

會計課長
出納

公文書案	件名	日本海々戦記念塔建設寄附 (金募集ニ関スル件)
	人名	須藤 素 完
外務省	受信	朝鮮慶尚南道知事
	人名	菅 和 三 郎
公文書案	管主	通 長 3
	主任	通 長 3
公文書案	文書課發送	昭和四年八月拾日 發送済
	淨書	(起草昭和四年七月二十日)
公文書案	校(原稿)	標渡 (淨書) 標渡
	原職用紙甲)	高尾
公文書案	附屬書	通
	名 込 紙	

拜啓陳者七月十九日付抄信ヲ以テ日本海々戦記念塔建設寄附金(指及送付置候處今般更ニ左記在外公館ヨリ夫々寄附金取纏メ送付越タルニ付寄附者名簿相添ハ右寄附金

文書課長 外務省

金募集 左

如キ希望者アリタルニ付別添横濱正金銀行發行
為替券第五六式 肆正本志葉ヲ以テ募集金伯貨
百七拾ミルリス也此邦貨金四拾式四九拾式錢也送附
ス可然御取計相成様致度

CII

9 11

I-0403

ノ
三

合計四百貳拾五圓六拾四錢也
及送行候^{用左}番御査収相成度候
銀^手少^手以^手別添

記

在倫敦總領事館 金拾四圓八拾壹錢也

在英松平大使 金五拾圓(個人寄附)

在「リッアップル」領事館 金拾七圓拾錢也

在米本使館

(原議用紙乙) +

外務省

3.2

I-0403

公印

百貳拾五圓六拾四錢也 銀行少切手^{手帳}以テ別添

及送付候^{内名}御査収相成度候 發具

記

在倫敦總領事館 金拾四圓八拾壹錢也

在英松平大使 金五拾圓(個人寄附)

在「リヴァプール」領事館 金拾七圓拾錢也

在米大供館

外務省

(原議用紙乙)ナ

I-0403

(原議用紙乙)ナ

在青島總領事館 ✓ 金貳拾五圓也

在バタビヤ領事館 ✓ 金參百拾八圓七拾參錢也

計 金四百貳拾五圓六拾四錢也

追前信同様之願證書方迄迄送付相煩度

考附者名簿ノ儘添付セリ

外務省

I-0403

第...

第...

昭和九年八月十日

東海戦争の建設費

若くは政界の通商の第一課長

書記官 坂本 啓

日本海軍
建設費
印

本件は東平に属する事ありしやと云ふ事ありて
しりしなりと云ふ事ありてしりしなりと云ふ事あり
本件は東平に属する事ありしやと云ふ事ありて
しりしなりと云ふ事ありてしりしなりと云ふ事あり
本件は東平に属する事ありしやと云ふ事ありて
しりしなりと云ふ事ありてしりしなりと云ふ事あり

Handwritten text in a rectangular frame, likely a document or letter. The text is written in a cursive style, possibly a mix of Latin and a non-Latin script. The text is arranged in several lines, with some characters appearing to be in a different script, possibly Cyrillic or a similar one, interspersed with Latin letters. The text is difficult to decipher due to the cursive style and the mix of scripts.

I-0403

文書課長

公 信 案

別紙

(原議用紙甲)ナ

文書課發送

昭和四年八月廿七日

淨書 柴田

正校 (原稿)

校核

(淨書)

校核

主 管 通商局長

主 任 第二課長

起 草 昭和四年八月十三日

通商局長

昭和四年八月廿七日

附 屬 書

通

懸案

受 信 人 名 別紙一通

發 信 人 名 吉田次官

件 名 日本海多戰記念塔建設寄附金
應募者對謝書傳達方件

名 込 額

呈表ニ貴館管官及居留民有志ヨリ募集ノ上御送金アリタル
本件寄附金ハ早速同會長朝鮮慶尚南道知事須藤

素完及送付置カ處今般同會理事ヨリ別紙領收證

611. 412

公 信 案

外 務 省

(原議用紙乙)ナ

送付越下共ニ寄附者各位ニ對シ謝書傳達方依頼越下ニ付
右列然待所計相成度

追而本件記念塔ハ五月二十七日竣成除幕式ヲ舉行

シタル越下リ書上ノ書真一葉添付ス

✓ (領收書及送付ノ書ハ添付シテ下
但シ送付ノ書ハ平大使宛領收證同封シ下)

外 務 省

3.2

3.2

27. 56

I-0403

1114.413

會計課
切符

公文書案	送付越候ニ付寄附者名簿相添、右寄附金合計金五百五拾九 推及送付置候處今般更左記在外公館、夫々寄附金取纏 拜啓陳者八月九日付抄信、以、日本海々戦記念塔建設寄附金 件名 (日本海々戦記念塔建設寄附金) 募集二箇分件 人名 須藤素完	主 通商局長 3 主 通商第三課 昭和四年九月五日 附屬書 通	文書課發送 昭和四年九月七日 發送済 淨書 (2) 正(原稿) (淨書) (起草昭和四年八月三十日) (原議用紙甲)

文書課長

公文書案

別紙

金泰添附

4 121

3.2

別紙 在倫敦米澤總領事代理 在里港 江戸領事 在青島 藤田總領事 在ハルビン 三宅總領事	外務省
--	-----

(原議用紙乙)

3.2

I-0403

銀行
會社
三
六
八

圓四拾九錢也 安省銀行小切手ヲ以テ別添及送付候間右御査

收相成度候 敬具

記

在「スラバヤ」領事館 金四百九拾六圓五拾四錢也

在「ブエノスアイレス」領事館 金叁拾八圓九拾五錢也

在「ポルトランド」領事館 金貳拾四圓也

計 金五百五拾九圓四拾九錢也

外務省

3.2

(原議用紙乙)ナ

追テ前信同様之領證書方迄御送付相煩度

✓ (守御者名簿其儘及金房添付了ト)

(原議用紙乙)ナ

外務省

3.2

I-0403

文書課長 〆

公 信 案

別紙

(原議用紙甲)ナ

文書課發送昭和四年九月拾八日發送簿

伊香 (印)

正校(原稿)

(伊香)

(高尾)

主 通 達 第 〆 号

主 任

昭和昭和四年九月十七日

通 達 第 〆 号

昭和昭和四年九月拾八日附

附 屬 書 通

受 信

在スラバヤ姉妹領事
在「ポートランド」中領事代理
在「ブエノアイレス」内山領事

發 信

吉 田 次 官

人 名

在「ポートランド」中領事代理
在「ブエノアイレス」内山領事

人 名

吉 田 次 官

件 名

日本海々戦記念塔建設寄附金
鷹喜若三君謝書傳達方件

名 込 額

呈表ニ貴館管内居留民有志ヨリ募集ノ上御送金有之タル本件

寄附金ハ早速團會長朝鮮慶尚南道知事須藤素完及

送付置タル處今般同會理事ヨリ別紙領收證送付越ト共

11A.413

公 信 案

外 務 省

(原議用紙乙)ナ

成 度

二寄附者各位ニ対シ謝書傳達方依頼越タル付右以然御取計相

追而本件記念塔ハ五月二十七日竣成除幕式ヲ舉行シタ

ル趣ナリ當ホ一書真葉添付ス

ノ領收證及書真葉夫ニ添付ノト

外 務 省

3.2

3.2

I-0403

百

611A.413

昭和四年九月十日
 日海戦記念塔建設會
 理事 藤田 巖
 副理事 藤田 巖
 庶務 藤田 巖
 書記 藤田 巖
 監事 藤田 巖
 評議員 藤田 巖
 藤田 巖

通商手続

藤田

記

I-0403

Handwritten text in a vertical column, likely a list or record, enclosed in a rectangular border. The text is written in a cursive style and includes several lines of characters, possibly representing names or dates. The text is oriented vertically, reading from right to left within the column.

I-0403

通商局 第二課

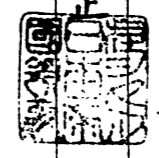
普通第二〇九號

昭和四年九月二十日

在シアトル

領事

込本季 正



外務次官 吉田茂 殿

日本海々戦記念塔建設寄附金募集ニ関スル件

本件ニ関シ本年三月二十五日附通二普通合第三〇四號貴信ヲ以テ仰付越、右ノ致義仍テ本件計画當市奉行北米時事並大北日報、而新聞ニ依リ管内在留民一般ニ披露致置キルニ慶別紙目錄、通寄附者合計百拾貳名ヨリ寄附金合計米貨券拾六千也、高應募有之右ノ如貨ニ換等ノ上当地

在シアトル日本帝國領事館

1114.4/3

2.

在シアトル日本帝國領事館

任友銀行支店ヨリ直接朝鮮慶尚南道知事宛送金セシムルニ付同銀行、郷里送金領收証書ニ送付スルニ付目錄ト共ニ在知事宛轉送方可然仰取計相成度欠使申進云

進寄附金ハ便宜上却貨五拾錢ニ異相當スル米貨ニ十五仙ヲ一口トシテ募集スルコトニ取計ラセタル所ニ付是亦仰テ米相成度

昭和四年九月七日



I-0403

11A.413

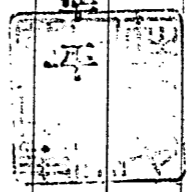
通商局

普通第二一〇號

昭和四年九月十日

在スラバヤ

領事 姉齒 啓



外務大臣野澤壽太郎喜重郎殿

日本海々戦部念塔建設寄附金

募券集二箇ニ付

本件ニ関シ本年七月十八日附普通第一六七号
批信ヲ以テ募券集寄附金及送付置キタル如キ

金券添付

昭和四年拾月拾日接受

② 金券預リ

77 50

後別紙甲号及乙号ノ事ニ付南貨九拾五箇
也ノ高應募券有之クニ付右換算邦貨金
七拾六円五拾錢也、高(別紙銀行ノ事)事
邦貨百円ニ付南貨百五拾箇(替)別添ノ
通リ金券ヲ以テ送送ス
此直收ノ上可然此取許相成度ニ

CII

CI

I-0403

一、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

MEMO

The Yokohama Specie Bank, Limited.
Sourabaya, SEP 25 1929

Foreign Currency 外 國 貨	Rate 相 場	Florin 幣
76.50	120 1/4	92.00

通商局
 昭和四年十月五日
 金券係付
 主役 南條

念塔建設の附属業ニ来ルル
 三月二十日付由ニ普面五三〇四
 申付、批發小 青地生角長
 面 多附申、了り合計約資
 也 (此米袋、食料、丸、井、66、100、但、シ
 係、三〇、一、三、等) 係、一、十、三、三、三、

I-0403

文書課長

公 信 案

別紙 金集添付

金集添付

文書課發送

昭和四年拾月九日

發送済

淨書(吉井)

正校(原稿)

(淨書)

主 通商局長

任 通商課長

(起草昭和四年十月一日)

普通 第 半 公 信

昭和四年拾月七日

日 附

附 周 書

通

受信 朝鮮慶尚南道知事

發信 通商局二課長
人名 菅和二郎

姓名 須藤素完

件名 日本海々戰記念塔建設寄附金
(募集案内件)

名 込 額

拜啓陳者九月五日付抄信ヲ以テ日本海々戰記念塔建設寄

附金(八月末迄ニ接到ノ分)一拾及送付置候處今般更ニ左記

在外公館ヨリ夫々寄附金取纏メ送付越候ニ付寄附者名

公 信 案

外 務 省

3.2

金集添付

611A.412

出納

會計課

(原議用紙乙)

簿相添右寄附金合計金壹百五拾參圓八拾壹錢也

少幼手ヲ以テ別添及送付候間御書收ノ上前同様御取計

相煩度候 敬具

記

在米大使館 六弗五拾仙此ノ邦作員金拾三圓七拾三奉

在サンパウロ總領事館 金九拾七圓拾七錢也

在リベロプレート分館 金四拾二圓九拾三錢也

外 務 省

3.2

I-0403

分類 I 1. 7. 0. 3-5)

6. 11. 4. 413

2

公文書	附金(九月末迄接到分)一括及送付置候處今般在「レ」ト 此周本領事ヨリ別添名簿一通寄附者合計百拾二名	件名 日本海々戦記念倉塔建設寄附 金募集函件	受信 朝鮮慶尚南道知事 須藤素完	主 通商局長 3 任通商局長	文書課發送 昭和四年拾月拾四日發送済	公文書案
		名込綴 本邦記念物保存部 日本海々戦記念倉塔 建設寄附金	發信 通商局二課長 菅和二郎	主 通商局長 3 任通商局長	淨書 彙書 正校(原稿) (淨書)	公文書案

文書課長 須藤

別紙

(甲・號用紙)

12 34

外務省	計 金壹百拾陸圓八拾七錢也 (金房及書牒等係傳其建屋係ノト)
-----	-----------------------------------

(原議用紙乙)

3.2

I-0403

(原議用紙乙)ナ

ヨリ寄附金合計米貨參拾六弗ヲ取纏ノ右邦貨換算額金七拾
五圓貳拾錢也同地住支銀行支店經由直接貴官宛送金シムル
趣通報有之候ニ付同銀行領收書相添ハ此段及御通知候

器具

追テ寄附金領收書ハ當方迄御送付相煩度及候

（シテ住支銀行領收書及寄附名簿其様送付ノト）

外務省

I-0403

通商局議

有

昭和四年拾月十五日

記念塔建設會理事

日本海軍

鐵

記念塔建設會

管通商局第二課長殿

設置印

寄附金受領書二箇ニ付

昭和四年十月七日附寄附金壹百五十拾參圓八拾壹

錢也 本日受領致候

者先日東一方より為本厚情を厚く有難く厚く

法礼申上候 高領收記同封致し書候 候向

然り取計取上候也

日本海軍及通商局

記

I-0403

通商局 第二課 管

在瑞西日本帝國公使館

昭和四年十月十九日 接受

金券預リ
全券一葉添附
附屬書添附

普通券二八二号

昭和四年十月十九日

車瑞西

特命全權公使 吉田伊三郎



外務次官 吉田茂 殿

日本海軍戦記念塔建設寄附金募集ニ関スル件

611A.413

本件ニ関シ本年三月二十五日附通二普通合第三〇四号貴信ヲ以テ送申
越ノ趣敬承然ルニ本信接受ノトキハ既ニ寄附金募集メ切期日ヲ経
過致シ居リタルモ送申越ノ趣旨ヲ當國各地在留本邦人ニ趣意書等
添付ノ上回牒致シ置ル處分股別狀ノ通寄附申出有之ルニ付其
合計瑞西貨五十七法二十仙也此邦貨金式格券内差錢也別添高替

在瑞西日本帝國公使館

券一葉ヲ以テ及び送付ニ付 け查收ノ上ハ朝鮮慶尚南道知事水
口隆三氏ニ送 轉送相煩度

I-0403

EIDGENÖSSISCHE BANK A.-G.
Banque Fédérale S. A.
BERN

Bern, 19. Oct 1929

BORDEREAU

Légation de Japon, Bern

N ^o	28. 07	Desquis	Tokyo	N ^o	17. 201
			2,487 1/2		
			Frain		150

Ch. Fink

昭和四年十月五日
菅井之深也
記念の恒樂酒を
本仙...
河...
記



I-0403

文書課長 成務

公 信 案

百層物同封

(甲 號 用 紙)

文書課發送 昭和四年舊月壹日 發送済

淨書 (音)

正校(原稿)

録送

(淨書)

高尾

主 通商局長 3

任 通商第三課

(起草 昭和四年十月二十日)

高尾

通 機 無 号

號 大正

昭和四年二月壹日 附屬書

通

1 40

受 信

人 名

在 米 出 淵 大 使
在 リッパロネレイト 周 本 領 事
在 サンパウロ 中 島 總 領 事
在 リッパロネレイト 古 関 領 事
在 サンパウロ 中 島 總 領 事

發 信

人 名

吉 田 次 官

件 名

日 本 海 軍 戦 記 念 塔 建 設 費 付 金
應 募 者 三 對 謝 意 傳 達 方 件

名 込 綴

皇 二 貴 館 管 官 及 居 留 民 有 志 ヲリ 募 集 上 御 送 金 有 之 タル 本 件 寄

附 金 早 速 認 念 塔 建 設 會 ヲ 長 朝 鮮 慶 尚 南 道 知 事 須 藤 素

完 及 送 付 置 タル 處 今 般 同 會 理 事 ヲリ 別 紙 領 收 證 送 付 越 卜

公 信 案

外 務 省

6114.413

(原 議 用 紙 乙)

共ニ寄附者各位ニ対シ謝意傳達方依頼越々付在可然御取計
相成度

追而本件記念塔ハ五月二十七日竣成除幕式ヲ挙行シタ

ル趣ナリ當トノ高々葉添付ス

(領收書及高々葉一葉夫々添付ノコト)

3.2

外 務 省

I-0403

文書課長 公信案

昭和四年

別紙 金券添附

(甲號用紙)

文書課發送 昭和四年第拾日 發送済

淨書

正校(原稿)

(淨書)

(金高)

主 通商局長

任 通商局長

主 通商局長

昭和四年十月八日

附屬書

通

通商局長

大正 昭和四年五月七日

附屬書 通

受 朝鮮慶南道知事

人名 須藤 素完

發信 通商局長 第二課長

人名 菅和 三郎

人名 須藤 素完

發信 通商局長 第二課長

人名 菅和 三郎

件名 日本海々戰記念塔建設寄附
金募集案内付

名 込 綴

拜啓陳者十月七日付抄信ヲ以テ日本海々戰記念塔建設寄

附金(九月末迄ニ接到ノ分)ニ指及送付置候處今般更ニ左記

在外公館ヨリ夫々寄附金取經メ送付越候ニ付寄附者

公 信 案

外 務 省

(原職用紙乙)

名簿相添、右寄附金合計金九拾九圓五拾壹錢也安田銀行
少幼手ヲ以テ別添及送付候間御查收、上前同様御取計
相煩度候 努具

記

在スラハ中二領事館(第二回) 金七拾六圓五拾錢也
在瑞西公使館 金貳拾參圓〇拾錢也

計金九拾九圓五拾壹錢也

(金券及右簿其建簿)

外 務 省

3.1

6 57 記

I-0403

通商局

公第 三〇一號

昭和四年五月廿七日

在晚香坡

領事 福間 豐吉

日本領事 國頭 豐吉

外務次官 吉田 茂 殿

日本海軍記念塔建設募附金募集三関スル件
本件ニ関シ三月二十五日附通ニ普通聯合會三
ノ四號貴信一越了承古ハ管区内在番民
ノ大多數ヲ網羅セル青地日本人會ニ

6119.413

移轉シ募附金募集方ノ依頼致置キタルト
口今會ニ於テハ市内ハ同會各役員ノ盡力ニ依
リ又地方ノ各々各地ノ團体ニ依頼シ之々々々
ノ結果今般別係為替方ノ通リ加貸金四千
百弗七千七百仙也(此日本債加千四百於圓九於
仙也)一募附ヲ集メタル趣ヲ以テ右金款日中
ハ送付力同會ヨリ青館迄依頼進メ付右金
款送付ニ送付ス
尚右募附ハ零碎ナリト雖在番民各自ノ
淨財ヲ集メタルニシテ在番民ノ熱情ノ露
示ニ付記念塔建設會長ヨリ日本人會長
月等々吉ノ右金款領収書(日中人會ニ於テ
表ノ都合アルニ付前記金款ハ加貸ニテ記入セラレ

CH

昭和五年五月十日
別紙添附
724

ク、外適者、謝状所取付、上青館へ送付を所仰
屬相叙スリ得、右ハ在番氏側ニ於テ欣快トス
ル所ナルト共ニ在番氏ニ對スル一禮、激勵トモ
可相成次サテナルニ付、右可然所取計相成標
致度此段回答者ニ申進ス

追而家附者名簿ニ部何事作考送致ニ
同封送付ス尚又前記貴信追書ニ一口五拾錢也
ト定メアリニ付加貸我於五仙也ナラ一口トシテ
幕集センタル次ナリ右為念申候ニ

CII

I-0403

為替相場

Memorandum.

From
THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.

Sto de Janeiro, 9-8 19 23
Pau de Arara
Cabanis/1115

No.	Date.	Amount.	Rate.	Days.	Interest.	Ex.
108-102 22/8/23		¥ 4292				24/8/23 170000

文書課長 成務

公 信 案

別紙

(甲 號 用 紙)

文書課發送

昭和五年壹月七日 發送済

淨書

正(原稿)

淨書

主 通商局長

任 通商局長

起草 昭和五年一月六日

通二機密第 無

號 大正

年 昭和五年壹月七日 附

附屬書

通

受信 在スラバヤ姉齒領事

發信 吉田次官

件名 日本海軍戰記念塔建設費附金
領收書送付件

名 込 綴

客年九月二十五日付普通第二一〇号責信ヲ以テ御送付有之ヌ

本件第二回應募寄附金七拾六圓五拾錢也ニ對スル領收證別添茲ニ

送付ス寄附者ニ對シテ本年九月十八日付抄信ノ趣旨ニ依リ謝意

公 信 案

外 務 省

6114.413



傳達方可然御取計相成度

(領收證其建添付ノリト)

(原職用紙乙)

外 務 省

3.1

I-0403

日本海々戦記念塔建設寄附金募集ノ件

逓信省第三課

(赤枠紙)

昭和四年五月二十七日ハ日本海々戦第二十五周年記念日ニ相當スルヲ以テ洽ク國民全般ヨリ淨財ヲ募集シ當時聯合艦隊根據地タリシ銀海灣ニ一大記念塔ヲ建設シ往年ノ戦勝ヲ永遠ニ記念スルト共ニ國民精神作興ノ一助タラシムベントノ趣旨ヲ以テ昨年一月朝鮮總督府池上政務總監ヲ總裁トシ日本海々戦記念塔建設會ナルモノ組織セラレ當時ノ田中外務大臣ニ對シテモ同總裁ヨリ在外居留邦人ヨリノ之カ寄附金募集ニ付適當援助アリタキ旨願出アリ依而吉田外務次官ヨリ其旨各在外公館長宛移牒シ居留民有志ヨリノ寄附金募集ニ當ラシメタル處居留民會、邦字新聞社(滿州ニ於テハ特ニ滿鐵地方事務所)等ノ積極的援助ニ依リ相當多數ノ應募者アリタルニ付右贈金ハ各在

4.11

外務省

(赤枠紙)

外公館ニ於テ取纏ノ上寄附者名簿ト共ニ記念塔建設會長宛直接又ハ本省經由送付シタリ

尙該記念塔ハ豫定ノ通海戦記念日タル昨年五月二十七日竣成除幕式ヲ舉行シタル趣ナリ

寄附金取扱ニ當リタル在外公館ハ六十一其ノ募集總額ハ參千五百九十九圓三十七錢(昭和四年十二月末現在)ニ達シタリ

4.11

外務省

I-0403

日本海々戦記念塔建設寄附金募集ノ件

昭和四年五月二十七日ハ日本海々戦第二十五周年記念日ニ相當スルヲ以テ治ク國民全般ヨリ淨財ヲ募集シ當時聯合監險根據地タリシ飯海灣ニ一大記念塔ヲ建設シ往年ノ戰勝ヲ永遠ニ記念スルト共ニ國民精神作興ノ一助タラシムベシトノ趣旨ヲ以テ昨年一月朝鮮總督府池上政務總監ヲ總裁トシ日本海々戦記念塔建設會ナルモノ組織セラレ當時ノ田中外務大臣ニ對シテモ同總裁ヨリ在外居留邦人ヨリノ之カ寄附金募集ニ付適當援助アリタキ旨願出アリ依而吉田外務次官ヨリ其旨各在外公館長宛移牒シ居留民有志ヨリノ寄附金募集ニ當ラシメタル處居留民會、邦字新聞社（滿州ニ於テハ特ニ滿鐵地方事務所）等ノ積極的援助ニ依リ相當多數ノ應募者アリタルニ付右贈金ハ各在

(赤柳昇紙)

外務省

4.11

外公館ニ於テ取繼ノ上寄附者名簿ト共ニ記念塔建設會長宛直接又ハ本省經由送付シタリ

尙該記念塔ハ豫定ノ通海戰記念日タル昨年五月二十七日竣成除幕式ヲ舉行シタル趣ナリ

寄附金取扱ニ當リタル在外公館ハ六十一其ノ募集總額ハ參千五百九十九圓三十七錢（昭和四年十二月末現在）ニ達シタリ

(赤柳昇紙)

外務省

4.11

I-0403

588.95

4 蘇州	4 揚州	南 西 貢	3 蘇州	3 新 興 洲	3 蘇州	3 蘇州	3 蘇州
二十三日也	二十三日也	四十五日也	二十三日也	二十三日也	二十三日也	二十三日也	二十三日也

外務省

3 蘇州	3 蘇州	3 蘇州	3 蘇州	3 蘇州	3 蘇州	3 蘇州	3 蘇州
二十三日也	二十三日也	二十三日也	二十三日也	二十三日也	二十三日也	二十三日也	二十三日也

外務省

I-0403

37874

蘇 州 府	南 寧 府	3 長 春	南 口 口	西 州 府	3 牛 莊	4 寧 波	南 口 口
十二 月 七 日	三 月 十 日	十 月	十 月	十 月	十 月	十 月	十 月

外務省

4 共 同	海 軍	4 益 湖	3 通 化	4 長 沙	3 理 春	4 沙 頭	4 廣 東
十 七 日	十 月	十 二 月 三 十 日	十 三 日	十 七 日	十 二 月	十 五 日	十 月

外務省

I-0403

112.96

4	九江	十一月三十日
3	安東	同日
4	上海	十二月二十日
鉄路 中		
4	重慶	十日
4	宜昌	十一月三十日
R.R. 中		
政ノ木テ		
一月三十日		

外務省

4	上海	四月二十日
3	奉天	七月三十日
3	組	四月二十日
3	ハナマ	八月九日
政ノ木テ		
二月二十日		
西 中		
九月十日		
南河内		
四月二十日		

外務省

I-0403

1586.18

4	或都	20
3	或都	19
2	或都	18
1	或都	17
	或都	16
	或都	15
	或都	14
	或都	13
	或都	12
	或都	11
	或都	10
	或都	9
	或都	8
	或都	7
	或都	6
	或都	5
	或都	4
	或都	3
	或都	2
	或都	1

外務省

117
899

5	或都	20
4	或都	19
3	或都	18
2	或都	17
1	或都	16
	或都	15
	或都	14
	或都	13
	或都	12
	或都	11
	或都	10
	或都	9
	或都	8
	或都	7
	或都	6
	或都	5
	或都	4
	或都	3
	或都	2
	或都	1

外務省

I-0403

文書課長

公信案

公信案

列紙

附屬物同封

原議用紙甲

文書課發送

昭和五年 壹月拾四日發送済

淨書

正校(原稿)

(淨書)

主 通商局長

任 通商局長

(起草昭和五年一月十一日)

管 機密 普通 第 号

昭 昭和五年 壹月拾四日 附

附屬書 通

受信 人名 在瑞西吉田公使宛

發信 人名 吉田次官

件名 日本海軍戦記念塔建設寄附金
應募者ニ対シ謝意傳達方ノ件

級 込 名

最ニ貴任國在留邦人有志ヨリ募集ノ上御送金有之ニ本件寄
附金ハ早速記念塔建設會々長朝鮮慶尚南道知事宛及送付
置スル處今般同會理事ヨリ別紙領收證(第八号)送付越ト共

公 信 案

外 務 省

6114.413

3.2

13 49

(原議用紙乙)

ニ寄附者各位ニ謝意傳達方依頼越スニ付右(別紙)御取計相成度

追而本件記念塔ハ本年五月二十七日竣成除幕式ヲ舉行

レニ越テリ當トノ寫眞一葉添付ス

(領收書及寫眞一葉添付ノト)

外 務 省

3.1

I-0403

文書課長 心盛

公 信 案

金券添付

(原議用紙甲)

文書課發送 昭和五年壹月拾八日發送済

主 任 主 任 (起草昭和五年一月十一日)

正校(原稿) (淨書)

號 昭和 昭和五年壹月拾六日 附 附屬書 通

會計課 出納

受 信 朝鮮慶尚南道知事 人名 谷 多喜磨 宛

發 信 通商手続課代理 人名 日 谷 忠

件 名 日本海々戰記念塔建設寄附金 (募集ニ関スル件)

名 込 綴

拜啓陳者本年十二月七日付訂以テ日本海々戰記念塔建設

寄附金(十一月末迄ニ接到ノ分)一拾及送付置候處今般更ニ在

南米サントス總領事館出張所ヨリ米貨貳拾九弗六十六仙

公 信 案

外 務 省

3.2

6119.413

(原議用紙乙)

(換算邦貨金五拾九圓九拾 弍也) 及在ハタヒヤ總領事館ヨリ

追加 金貳圓七十弍也夫々寄附金取纏メ送付越候ニ付右合計金六拾貳

圓六拾 弍也申田 銀行少切手ヲ以テ別添及送付候條御査収

ノ上前同様御取計相煩度候 茲具

(金券添付ノコト)

外 務 省

3.3

I-0403

文書課長 森

公 信 案

別紙

(原議用紙甲) +

文書課發送 昭和五年壹月七日發送済

淨書 (山下)

正(原稿)

(淨書)

主 通 郵 局 長

任 主 運 郵 課 長

(起草昭和五年一月二十日)

二 掛 符

八 九

號 昭 和 五 年 壹 月 廿 七 日

附 屬 書 通

受 信 在 サントス 南 條 主 任

發 信 人 名

吉 田 次 官

人 名 在 バルビヤ 小 谷 總 務 子 代 理

件 名 日 本 海 外 報 社 塔 建 設 費 寄 附 金 傳 達 書 謝 意 傳 達 方 件

級 込 名

811A.413

公 信 案

外 務 省

日 本 海 外 報 社 長 居 民 有 志 者 募 集 上 海 送 金 有 之 本 件 寄 附 金 早 速 認 令 塔 建 設 會 長 朝 鮮 廣 南 道 知 事 宛 及 送 付 置 之 處 今 般 同 會 理 子 子 別 紙 檢 收 證 送 付 越 下

(原議用紙乙) +

共ニ寄附者各位ニ対シ謝意傳達方依頼越スルニ付右可然待取計
抽成度

自前件込込塔ノ一月十七日迄或除算ナシヲ舉行シタル

越下リ各ノ一言ニ 葉添付ス

(館收書及印章、葉大ニ添付ス)

外 務 省

3.2

3.2

27 86

I-0403

公 信 案

文書課長 公 務

別紙 添附

(甲 號 用 紙)

文書課發送 昭和五年一月九日發送済

淨書 (三) 正校(原稿) (淨書)

主 管 通商局長 任 通商局長 昭和五年一月二十四日

二 掛 第 半 分 信 號 大正 昭和五年一月廿七日 附 附 屬 書 通

受 信 朝鮮慶尚南道知事 發 信 通商局長 代理

人 名 谷 多喜磨 亮 人 名 冒 谷 忠

件 名 (日本海々戰記念塔建設寄附金) 名 込 綴

拜啓陳者 一月十六日付拙信ヲ以テ日本海々戰記念塔建設寄

附金(十二月末迄ニ接到ノ分)及送付置候處今般更ニ在叻香

坡福岡領事ヨリ別紙ニ事ノ通同地ニ於ル本件寄附金募券集

公 信 案

外 務 省

6114.413

會計課長 印

出 納

連 繫

(原 議 用 紙 乙)

ニ南スル委曲報告越ト共ニ右寄附金合計金貳千四百貳拾圓九拾
 錢也寄附者名簿相添、送付有之候ニ付在叻日 銀行ノ切手ヲ以テ
 別添及送付條條御查收相成度高別添來信書後段福岡領事ノ
 申出、一應尤モ、備ト被存候ニ付特ニ適當形式ヲ具備セテ謝状
 御作成、上當方迄御廻付相煩度此段御依頼申進候 茲具

(昭和四年十二月廿七日發着地領事館ノ來信才三〇号書付、上及名簿
 其建添付ノコト、金券添付)

外 務 省

8.1

27. 47

I-0403

拜啓

益々清静奉終候際、日本海記念塔建設
寄附其集金に關してハ、一方ナラサル所配慮ヲ蒙リ
御陰ヲ以テ記念塔ヲ除キ其他ノ工事ニ完全ニ費工
致シ維持基金金五万四千圓ニ相成自、然國法
人設立認テ申請中、有主候為、在日、曉音、地
商、向、了、可、預、決、報、備、法、二、千、四、百、武、於、國、九、於、寄
也、心、二、欲、收、致、以、ハ、付、給、事、決、申、出、三、志、ハ、給、收、記
謝、状、共、送、附、致、以、写、可、然、決、計、上、及、決、依
願、申、上、ル、

為、御、心、寫、眞、は、寄、附、枚、別、送、送、附、致、以、詢

I-0403

日本南洋單語之研究會

併せて海廟大徳益力不友小

五月二日

日本海峽南洋聯合會 總

外務省通商局

局長 藤田



I-0403

文書課長

文書課發送

昭和五年貳月七日

發送済

淨書

正校(原稿)

(淨書)

附屬物同封

附屬別便

(原議用紙甲)ナ

主 通商局長

主任

(起草昭和五年二月四日)

通商 普通 第七 號

昭和五年貳月六日

附屬書

通

受信 在晚香坡

人名 福岡領事

發信 幣原小大臣

件名

日本海軍記念塔建設費附金
(募集ニ関スル件)

名 込 綴

本件ニ関シ客年十二月廿七日附公才三〇一ノヲ以テ

内申哉ノ取了取 内送附ノ寄附をハ當時日本海

軍記念塔建設會會長宛送附スト共ニ貴會

6119.413

公 借 案

外 務 省

(原議用紙乙)ナ

類及移牒置タル 処今般令會長ヨリ右領收証

貴會並日本人會長宛 謝状及紀念塔(塔)が(種)苗校

送附哉タルニ付右一併茲ニ送附久一の送取計

相成交

五年二月一日附日本海軍記念塔會長代表附屬物
封書或通線書白紙一枚付ノ

外 務 省

3.2

3.2

6 79 記

I-0403

22
22

文書課長

公 信 案

(甲 號 用 紙)

文書課發送	昭和四年貳月拾九日發送濟	淨書	校(原稿)	(淨書)
主 通商局長	任 主	(起草略禮四年二月十三日)	(實)	
通 議 第 彩 信 號	大正昭和四年貳月拾八日附	附 屬 書	通	

受 信 朝 鮮 慶 尚 南 道 知 事	發 信 第 二 課 長
人 名 水 口 隆 三 宛	人 名 菅 和 三 郎

件 名 (日本海々戰記念塔建設ノ件)	名 込 綴
--------------------	-------

拜啓陳者二月十日付書信ヲ以テ日本海々戰記念塔建設ノ件ニ關シ
 御申越、趣致承仕候依而今般吉由次官ノ御申請書ヲ以テ
 在外公館宛御送付越、趣意書ヲ配付シ夫々居留民ヨリ釀金

公 信 案

外 務 省

(原議用紙乙)

方取計、シノ度意向ニ御座候處、曩ニ三笠艦保存費釀金ノ際ニ於テ
 ル实例モ有之、一口金五拾銭トシテ廣ク一般在外邦人ヨリ湊銭ヲ釀出セ
 シムルハ本館名塔建設ノ本旨ニ添フ所以ナルノミナラス實際取扱上モ亦頗
 ル便宜ナルヤニ思召申上候就テ、右患見、通取計ヒ是支、無之候
 ヤ貴見何分、儀至急御示相煩度、此段申進候 敬具

外 務 省

3.2

I-0403

日本海軍戦記念塔建設費寄附者名簿（在張家口領事館取扱）

金額	住所	氏名
一金壹圓	張家口	山崎誠一郎
一金壹圓	同	田中隆吉
一金五拾錢	同	徳永文太
一金五拾錢	同	猪原幸四郎
一金五拾錢	同	仲留四郎
一金五拾錢	同	小西四郎
一金五拾錢	同	盛島角房
一金五拾錢	同	中國フジ
一金五拾錢	同	谷下巖夫

外務省

(赤紙)

金額	住所	氏名
一金五拾錢	張家口	金顯國
一金五拾錢	同	趙潤植
一金五拾錢	同	黄雲龍
計金七圓也		

外務省

(赤紙)

I-0403

日本海海戦記念塔建設費寄附者名簿

一金貳拾貳圓也

(奉天總領事館新民府分館扱)

内譯

一金參圓也

瀧山 靖次郎

一金壹圓也

福井 保光

一金壹圓也

早川 甚藏

一金壹圓也

今西 稔

一金壹圓也

吉藤 太郎吉

一金壹圓也

宮崎 佐八

一金壹圓也

松本 熊重

一金壹圓也

土屋 淳

(赤
神
紙)
1

外務省

一金壹圓也

神原 九三郎

一金壹圓也

三戸 磐太郎

一金壹圓也

永田 庄次郎

一金壹圓也

内藤 千平

一金壹圓也

木下 重吉

一金壹圓也

竹林 安次郎

一金壹圓也

渡部 義就

一金壹圓也

河村 正朔

一金壹圓也

長廣 秀一

一金壹圓也

大和田 新一

一金壹圓也

古園 祐治

(赤
神
紙)
1

外務省

I-0403

金額		氏名	
金五圓也	田中	作	金五拾錢
金二圓也	國部	政助	佐藤
	森	常太郎	岡島
	中谷	良作	齋藤
	松尾	松一	星
金壹圓五拾錢	久保田	半三郎	宮本
	安島	篤	山崎
金五拾錢	藤坂	保治	奥山
	山下	保祐	菅波
			菅波
			菅波

日本海軍戦艦記念塔建設寄附金人名表

(局子街)

(赤神紙) 4

外務省

一金五拾錢也	石原	忠
一金五拾錢也	咸	明俊
	以上	

(赤神紙) 4

外務省

I-0403

				金一圓也						金五拾錢也
島	龜	古	山	前	森	岩	李	朱	金	羅
昌	野	川	下	田	虎	壽	鐘	縣	學	貞
治	嘉	新	榮	米	俊	水	淳	南	元	俊
										金一圓也
村	坂	日	五	長	中	島	松	筒	深	平
井	井	高	島	田	村	山	田	井	堂	山
營	田	三	忠	源	字	は	要	末	圓	玄
之	直	千	次	十	三	つ	之	作	一	吾

外務省

(赤梓紙) 1

										金五拾錢也
小	梅	安	小	羽	牧	三	吉	竹	川	藤
坂	本	東	川	吉	野	宅	田	内	口	邊
與		三	吉	甲	五	信	龜	藤	金	萬
作	薫	郎	太	二	良	吉	雄	五	之	次
			郎	郎				郎	助	郎
										金五拾錢也
藤	上	七	鈴	玉	中	池	遠	成	花	安
口	野	原	木	井	久	田	藤	田	井	部
末	三	劍	久	義	喜	深	末	三	藤	饒
生	郎	治	七	次	捨		次	護	二	

外務省

(赤梓紙) 1

										金五拾錢也
方 鎮 洵	林 在 德	金 東 勳	長 松	林 承 烈	李 元 俊	崔 水 學	金 準 根	小 江 大 吉	金 秉	小 野 晉
金一圓五拾錢也	金五拾錢也	金一圓也						金五拾錢也	金一圓也	金五拾錢也
竹 田 伯 次	張 秀 一	朱 允	宗 圓 吉 政	李 青 松	田 茂 德 藏	鈴 木 日 佐 吉	韓 弘 洙	新 島 保 三 郎	中 島 好 雄	安 基 沃

外務省

(赤紙)イ

										金五拾錢也
崔 章 植	金 基 鴻	金 錫 鍾	黃 昌 一	張 基 憲	崔 允 周	加 藤 彌 惣 吉	山 ノ 口 八 百 次	村 田 一 郎	尾 芝 瀧 次	上 坊 寺 教 吾
					金五拾錢也	金二圓也				金五拾錢也
國 中 休 六	鈴 木 正 義	東 壽 久	崔 仁 煜	山 中 裕	宇 波 彦 次 郎	淺 羽 傳 六	関 泓 根	朴 瑞 陽	崔 甲	金 雄 龍

外務省

(赤紙)イ

										金五拾錢也
權	金	全	李	金	盧	韓	李	大	李	松
明	連		元	亨	中	錫	水	泉	鍾	本
洙	河	逸	河	樣	山	淳	根	武	律	兄
								金	金	金
								五	一	五
								拾	圓	拾
								錢	也	錢
								也		也
朴	金	安	大	野	朴	奧	全	山	佐	朴
昌	錫	甲	塚	崎	承	村	在	田	藤	秉
嵩	禹	容	武	計	治	集		清	善	三
						藏		太	策	
								郎		

外務省

(赤林紙)イ

		金五拾錢也	金一圓也							金五拾錢也
朴	金	崔	金	文	盧	平	林	野	山	廣
京	大	元	聖	日	英	井	音	上	本	岡
錫	煥	協	麟	萬	傑	鐵	松	近	登	真
					金	金				金
					五	二				五
					拾	圓				拾
					錢	也				錢
					也					也
林	橋	柴	藤	金	佐	赤	尹	朱	蔡	金
武	詰	正	原	景	藤	池	新	鍾		壽
茂	松	人	今	俊	一	泰	楨	律	錫	政
	次		右		郎	重				
	郎		衛							
			門							

外務省

(赤林紙)イ

I-0403

(赤 神 紙) イ

金五拾錢也	朴 龍 寅				
	崔 南 傑				
	金 昌 豚				
	大久保 正 丞				
合 計 壹百〇參圓也					

外 務 省

(赤 神 紙) イ

日本海々戦記念塔建設寄附者名簿

(北滿、滿洲里市居住)

金壹圓也 田中文一郎 福島力雄
 金五拾錢也 鐵本與市 島崎フジ 岩永寅藏 志水語 見分與吉
 中川金三郎 岩見福造 池田スエノ 高濱文市 島崎
 兼男 加島甲子太郎 稻田梅十 久重一郎 橋口清
 次郎 宮本熊平 北浦松太郎 下村進 中村倉吉 河
 野樂治 河野サト 永川龜雄 小谷定太郎 藤井健吾
 白石茂七 池田平八郎 杉本金徳 岩元鐵二 竹林カ
 タ 松下義輔 岡部芳太郎 三浦龜忠 山本恆三郎
 平島七郎 松本ユキノ 小出尙 池田平之助 豊田俊

外 務 省

I-0403

治 藤野進 金九甲一 久保田正雄 中澤種一郎 林
 田孝明
 金拾圓也 川俣雄人

(赤 押 紙) 1

外 務 省

4.3

農安領事館分館管轄区域内寄附者名

金 額	口 数	寄 附 者 氏 名
一金五圓也	拾口	片山正一
一金貳圓也	四口	高野豊助
一金壹圓也	貳口	下俣重次郎
一金五拾錢也	壹口	湯浅翁道
計金八圓五拾錢也		

(赤 押 紙) 1

外 務 省

4.3

I-0403

—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
林	石	土	中	七	山	高	川	箭	松	黒
武	橋	肥	島	海	口	橋	崎	野	本	木
	元	正	力	秀	近	長	貞	茂	廣	麩
		義	助	男	義	兵	吉	三	吉	俊
						衛		郎		

外務省

(赤神紙) 4

4.3

—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
小	坂	石	福	佐	川	宇	佐	六	潘
林	基	川	村	藤	村	都	藤	尾	川
政	次	亦	知	時	要	宮	時	榮	炭
治			輝	臣	遣	四	臣	次	破
郎						廿			

外務省

(赤神紙) 4

4.3

博山總領事館出張所管轄区域内寄附者名簿

口數 住所 氏名

I-0403

外務省

西島秀來	福田金藏	佐々木壽男	香月繁	土方喜四郎	西岡勇	青木素亮	瀬戸榮三	能勢國治	渡邊佐市	豊田末吉
------	------	-------	-----	-------	-----	------	------	------	------	------

(赤神紙) 1

I-0403

外務省

今	米	森	田	相	柳	小	菊	佐	山	佐
井	澤	本	中	良	瀬	山	地	藤	田	藤
文	平	倉	保	正	六	忠			輝	國
吉	三	次	市	明	次	藏	博	禎	治	彦
	郎	郎								

(赤
神
紙)
イ

I-0403

—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
飯 田 千 力	岡 田 邦 彦	友 田 光 平	中 島 元 吉	吉 村 直 一	津 留 嘉 一	廣 畑 熊 之 助	木 ノ 下 友 次 郎	中 島 源 吉	右 賀 大 吉	藤 原 恒 一

外務省

(赤
押
紙)
イ

—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
木 村 年 春	小 林 富 次 郎	岡 田 倉 吉	成 重 喜 代 松	前 田 才 藏	渡 邊 丈 藏	島 津 重 太 郎	高 丘 萬 吉	佐 野 權 次 郎	前 原 榮 次	川 船 謙 雅

外務省

(赤
押
紙)
イ

I-0403

二	二	一 ○	二	二	二	一	一	一	一	
・	・	・	・	・	博 山	・	・	・	・	
君 山 平 次 郎	恒 久 洋 行	東 和 公 司 職 員 一 同	中 野 忠 二	高 田 初 太 郎	成 田 良 藏	安 河 内 リ 工	上 田 ナ ミ 工	太 田 久 槌	坂 和 一 馬	平 田 定

外務省

4.3

(赤
神
紙)
イ

一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
古 賀 岩 次 郎	林 治 平	久 田 岩 夫	安 増 直 利	櫻 井 長 三 郎	森 田 賢 次	山 田 善 四 郎	吉 積 新 一	矢 田 昇 作	久 保 宗 馬	天 野 新 六

外務省

4.3

(赤
神
紙)
イ

I-0403

合計百參拾九口

二 二 二 二 二 二 一 一

西尾 勝吉
城野 芳次郎
杉山 一臣
佐々木 高義
太田 徳三郎
寺西 善一
山元 貞秀
千金良 善二

外務省

4.3

(赤 神 紙) 1

一 二 四 二 二 二 二 二 二 二

田村 良吉
吉村 龍藏
宮本 正雄
鈴木 勇次郎
那倉 秀知
深見 薫
岩永 一二
武田 源三郎
兩平 公司
一之瀬 春雄
柴田 シカ

外務省

4.3

(赤 神 紙) 1

I-0403

日本海軍戦記念塔建設費寄附者名簿（蘇州領事館扱）

- 一 金貳圓也 岩崎榮藏
- 一 金壹圓也 藤波武雄
- 一 金壹圓也 岩田清太
- 一 金壹圓也 橋本高三郎
- 一 金壹圓也 網野一布
- 一 金壹圓也 吉田直太
- 一 金壹圓也 鹽足尋行
- 一 金壹圓也 中村 清
- 一 金壹圓也 岡田 巻
- 一 金壹圓也 佐藤清助

(赤 紙) 1

外 務 省

(赤 紙) 1

- 一 金壹圓也 佐々木龍勝
- 一 金壹圓也 畑野房次郎
- 一 金壹圓也 政二金次郎
- 一 金壹圓也 平澤國衛
- 一 金壹圓也 池田経一
- 一 金壹圓也 山内豊太郎
- 一 金五拾錢也 増田繁雄
- 一 金五拾錢也 七熊藤介
- 一 金五拾錢也 直藤眞美治
- 一 金五拾錢也 杉山勝義
- 一 金五拾錢也 横山藤一郎

外 務 省

I-0403

「金五拾錢也	小田切親一
「金五拾錢也	市來純雄
「金五拾錢也	佐々木好雄
「金五拾錢也	的揚太七郎
「金五拾錢也	桐原孝藏
「金五拾錢也	平林盛人
「金五拾錢也	川上一吉
「金五拾錢也	小西春三
「金五拾錢也	大本三助
「金五拾錢也	兒玉弘
「金五拾錢也	上野三郎

外務省

(赤林紙) 1

4.3

「金五拾錢也	小山光弘
「金五拾錢也	野上登
「金五拾錢也	中島善市
「金五拾錢也	吉原勝郎
「金五拾錢也	木村義一
「金五拾錢也	三原介一
「金五拾錢也	吉本武夫
「金五拾錢也	上島秀雄
「金五拾錢也	光吉熊夫
「金五拾錢也	星忠男
「金五拾錢也	蘇武昭治

外務省

(赤林紙) 1

4.3

I-0403

一、金五拾錢也	安部タマ
一、金五拾錢也	吉原ソエ
一、金五拾錢也	田島サカ
一、金五拾錢也	木田月子
一、金五拾錢也	升谷 孝
一、金五拾錢也	大坪ヨシ
一、金五拾錢也	大塚ツヨ
一、金五拾錢也	上野ツギ
一、金五拾錢也	小川ツギ
計	金參拾五圓也

(赤
粉
紙)
イ

外務省

毛利此吉	神 雙 夫	李 燦 翊	土 田 庄 松
長谷川清	朴 尙 元	三木季三郎	青 山 卓
矢島要八	崔 秀 吉	崔 載 璵	松 尾 峰 雄
廣岡繼松	李 容 恂	松永國太郎	稻 見 伊 武
佐藤竹藏	鐘 洙	鴛淵二郎	北 原 善 藏
西澤千代佐	崔 慶 植	今本次郎	小 柳 竹 次 郎

(赤
粉
紙)
イ

日本海々戰紀念塔建設寄附金應募者名簿

一、地名 頭道溝地方

一、金額 金五拾壹圓五拾錢也

但一口金五拾錢

一、氏名

外務省

金	朴	申	朴	弓	趙	金	李	姜	金	金
應	德	冕	根	恩	秉	昌	岐	蘭	柱	鳴
七	仁	奎	萃	德	壽	經	鉉			故
延	吳	金	全	車	李	朴	朴	大	金	李
和	仁	公	秉	鍾	漢	容	濟	東	慶	東
元	淑	淑	勳		英	極	松	商	弼	植
金	李	金	李	具	千	李	白	吳	劉	金
寬	觀	東	容	元	泰	龍	羽	德	宗	養
植	變	勳		奎	星	根	鶴	吉	宗	性
								計百〇三名	朱	金
									漢	燦
									明	

外務省

山	豐	鄭	武	石	日	青	小	本	金	海
丸	原	乘	井	丸	野	井	池	田	鐵	老
清	卓	世	初	政	誠	勇	直	重	石	原
金	郎		五	雄	直		人	雄		喜
變	成	北	澤	大	增	落	渡	武	中	逸
	岡	住	田	堀	田	谷	邊	石	山	有
	勝	元	寬	國	信	榮	要	銀	五	木
	吉	雄	幸	一	次	八	造	藏	郎	其
中	中	岩	大	玄	椎	藤	井	夏	關	金
島	島	井	友	時	野	澤	面	梅	口	成
潔	良	六	公	德	治	寇	怒	眞	養	俊
白	助	郎	男		六	司	一		志	
內	佐	馬	藪	藤	細	藤	川	松	三	關
田	々	場	內	村	井	井	原	岡	原	重
長	木	良	岩	洋	寬	市	佐	靜	昇	雄
次	彦	一	雄	行	一	二	之	子	一	
郎	一			支			助			
	郎			店						

外務省

I-0403

拜啓

屬意之何愈也

情禮之般為耶

度可乎至不奉存

却說閣下在部

惟戴有先學

有見之日孝也

紀念塔是別紙

計圖之依之事

I-0403

有見了日多也之哉
就念塔は別紙致
計圖之依、工事の
着、着、逢、海、波
居、供、就、外、
國、居、住、者、有、志、
由、淨、財、を、其、集、財、
度、由、多、用、中、誠、
悲、痛、の、至、に、存、供、之、
通、商、局、中、二、課、
費、和、多、の、民、究、死、
意、書、此、他、亦、添、
費、送、方、中、依、頼、以、
以、之、付、官、教、中、存、

I-0403

通商局中二課
費和之民究趣
意書生代亦係
發達方中依願以
以之付宜教中至
中上

習

育

日身海兵我紀念塔
建設會總裁
地中

能

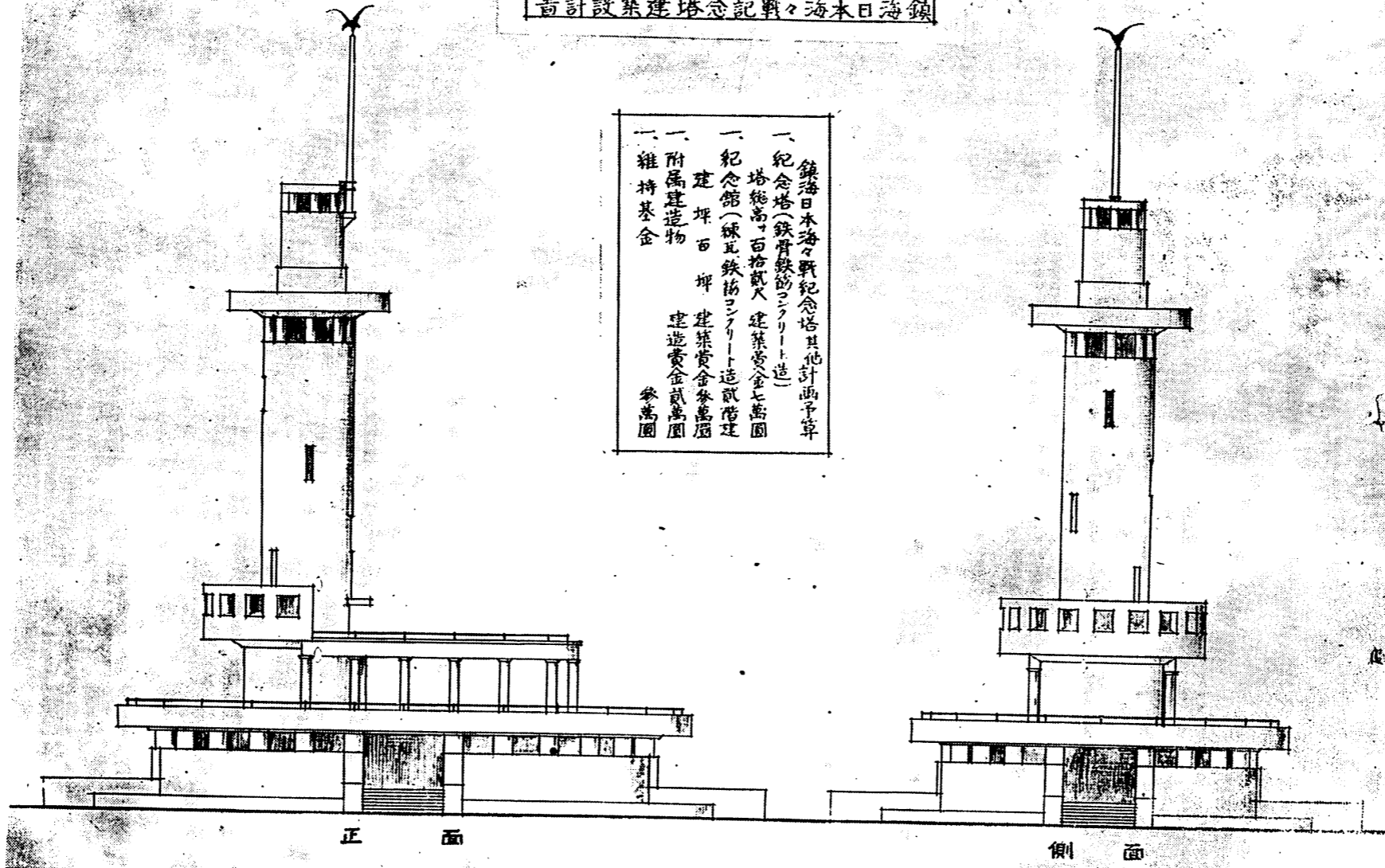
中國總理
黃印

甲申

I-0403

鎮海日本海軍戦記塔建設設計圖

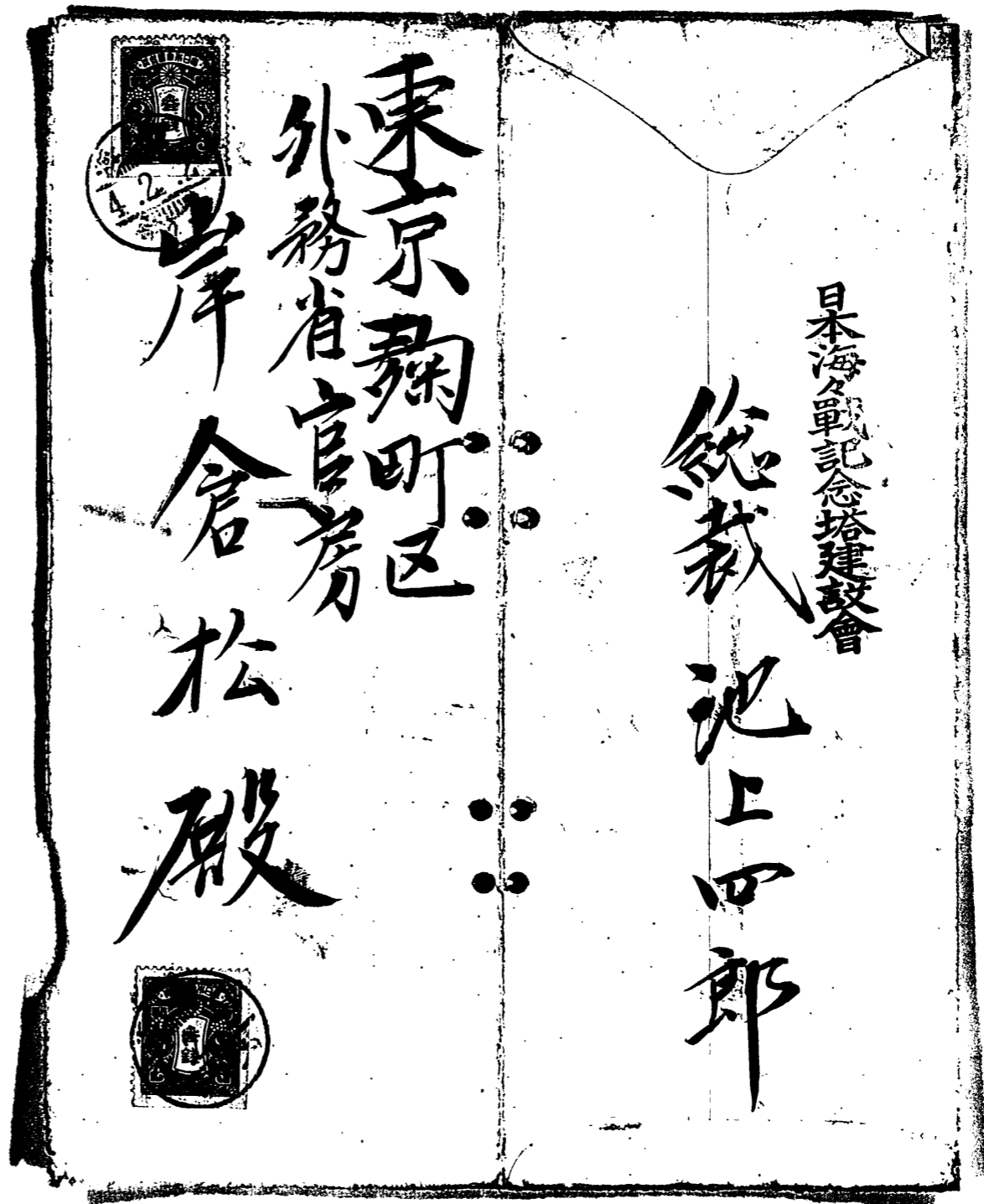
鎮海日本海軍戦記塔 其他計画予算
 一 紀念塔(鉄骨鉄筋コンクリート造)
 塔総高、百拾玖尺八寸 建築費金七萬圓
 一 紀念館(練瓦鉄筋コンクリート造)附帯建
 坪百 坪 建築費金參萬圓
 一 附屬建造物 建造費金貳萬圓
 一 維持基金 參萬圓



正面

側面

I-0403



日海戰記念塔建設會

總裁 池上四郎

東京麹町区

外務省官房

岸倉松殿



I-0403

高松市八幡物置
ウラタケ屋
秤所

履室の所々命今も

精神が彼が邦家度

其のまゝ存存ん

邦説存存子け日存也

汝我中辛五回記念日

子相者すると以て以際

當時聯合艦隊根礎

地をりし錯也濠の子一天

記念塔を建設し往年

の戦勝を永遠に記念

し國民精神作興の一助

たらしめんことを發起

I-0403

記念塔を建設し従軍
の戦勝を永遠に記念
し國民精神作興の一助
たらしめんことを發起政
候處此見存たる素より
國民的事業に
一部地方人士の私議
すべしとあらざるを以て
庶幾全國より洋財と
募集致すこと、相成り
就中御多用中誠懇
縮の意に存候、其情河
鎮海要港部司令官反
より依頼申候外、未
居候者も別紙趣意
書其他配布の件も書
力申候申上候

I-0403

就御多用中誠懇
縮の至に存候、其情河
鎮海要港部司令官反
より依頼申候外、是
居候者に別紙趣意
書其地配布の件、書
力申候申上候

敬白

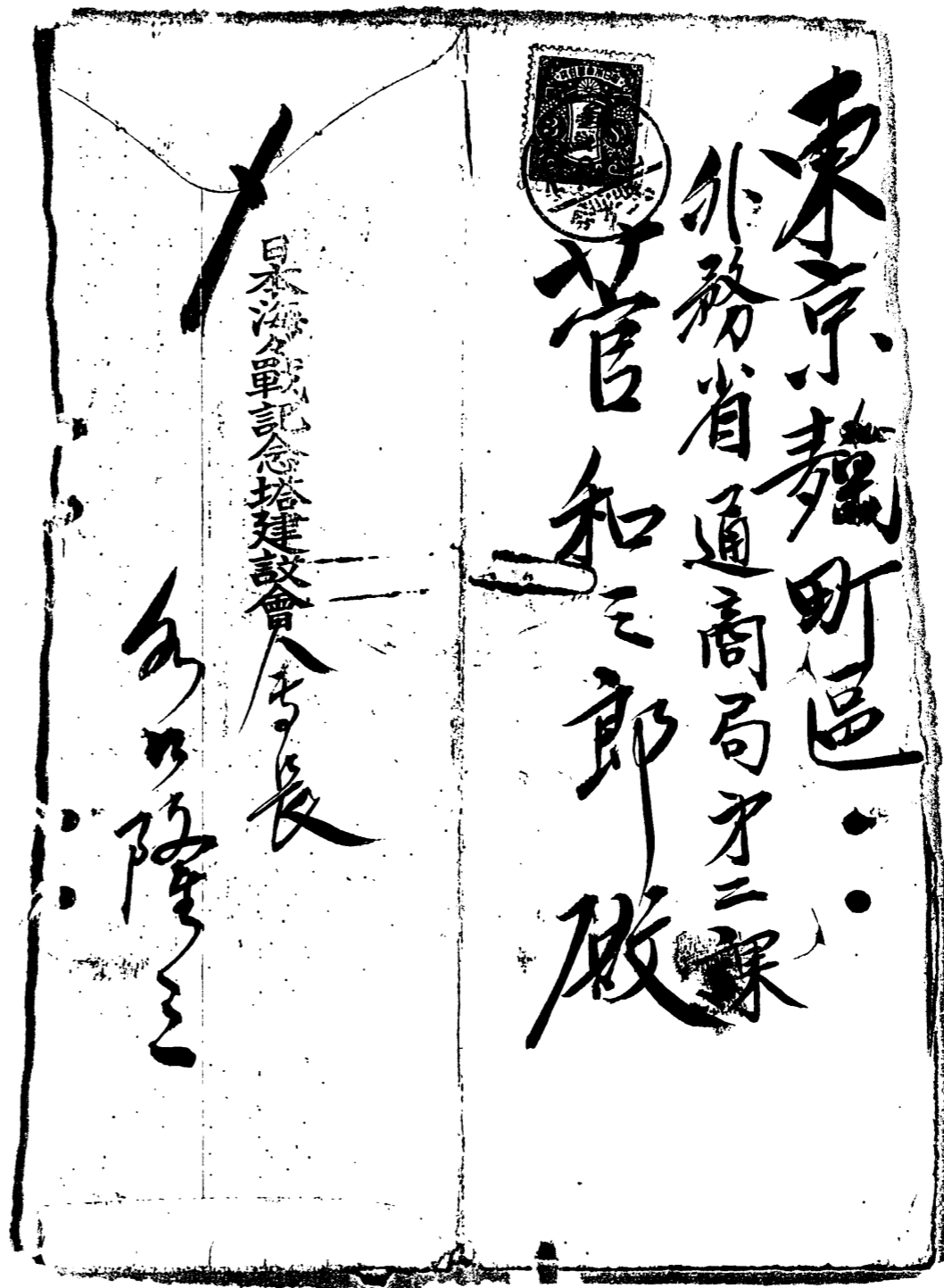
昭和四年二月一日

日本郵船株式會社
支店長

久松隆三

菅原三郎 殿

進部員中、外務大臣の記者會
總裁より依頼状差上申置候



東京麹町区
外務省通商局才三課
菅 和 三 郎 殿

日清戦争記念塔建設會 会長

久松隆三

I-0403

通商局

公券ニ五紙

昭和五年二月二十八日

在星加坡

特命全權公使 青木



外務次官吉田 敬

日清海峽戦記念塔建設會附金募集ニ関スル件

如件ニ関シ客年三月二十五日附通ニ普通會券三〇四紙 貴
信ヲ以テ御申越ノ次第アリ名ニ依リ早速貴國各地在留民衆
左ノ趣旨傳ヘ名ニ寄附既ニ北米諸新聞ニ該記念塔ノ建

611A. 413

設除幕式ニ就キ報道ス所アリ又記念塔建設會會長水

口隆三氏ノ書簡末尾ニ依リ寄附人全ニ整理ノ都合上四月
末日迄ニ送付ヲ受度キ旨有セタルモ本信ヲ接受スルハ客
年五月上旬ニテ三方ニ寄附者ノ意向伺ヒマシリシ次第ハ道
慥ニ存スルモ左ノ事情御諒察ノ上必要ナラハ水口會長(朝
鮮)慶尚南道知事)ニ可忍傳達方御取計相成度
此致同答方申進ス

CH

I-0403

通商局第三課
通商局

普通第六四號
昭和五年三月十一日

昭利五年四月 四日接交

金
在スラバヤ
領事 姉齒準平
金考存証

外務大臣 男爵 幣原 喜喜重郎 殿

日本海軍 戦記念塔建設等財金
草案集ニ関スル件

本件ニ関シ、既ニ去年七月十八日附普通運力六七号及
左年九月二十日附普通運力二一〇号附信及于寄附

611A.413

金及送付遺キタル知最近ニ弄一東部ハ陸ヨハニ
シ、日本入會リ、本件寄附金トシテ、東部ハ復テ
振土指也送付有之タリ、付右換ハ算知復金或指
内或指ハ亦也、高(別紙銀引ハ等、知候、由内ニハ、東
候、二三指右指)別紙金考リ及于送付入、于查收、
上可然、取計、相成、度シ

CH

I-0403

昭和四年三月十一日
 日本海海戦記念塔建設會
 外務省通商局第二課長殿
 記念塔建設費寄附金三圓五銭

昭和四年三月十一日
 日本海海戦記念塔建設會長水
 外務省通商局第二課長殿
 記念塔建設費寄附金三圓五銭
 首題ノ件ニ関シ曩日種々御面御相煩ニ居
 リ候處今般二月十日附貴翰ヲ以テ御示教
 ニ預リ候在外邦人ニ対スル淨財募集一口金
 五拾支也ハ誠ニ妙案ト存シ候ヘバ貴説ノ
 通り可然御取計賜度御依頼申上候

日本海海戦記念塔建設會
 設置長印

管
 日本海海戦記念塔建設會

I-0403

MEMO

The Yokohama Specie Bank, Limited.

Sourabaya, MAR. 11 1930

Foreign Currency 外 國 貨	Rate 相 場	Florin 蘭 貨
1915 #995 #2028	123 1/4	f. 25 =

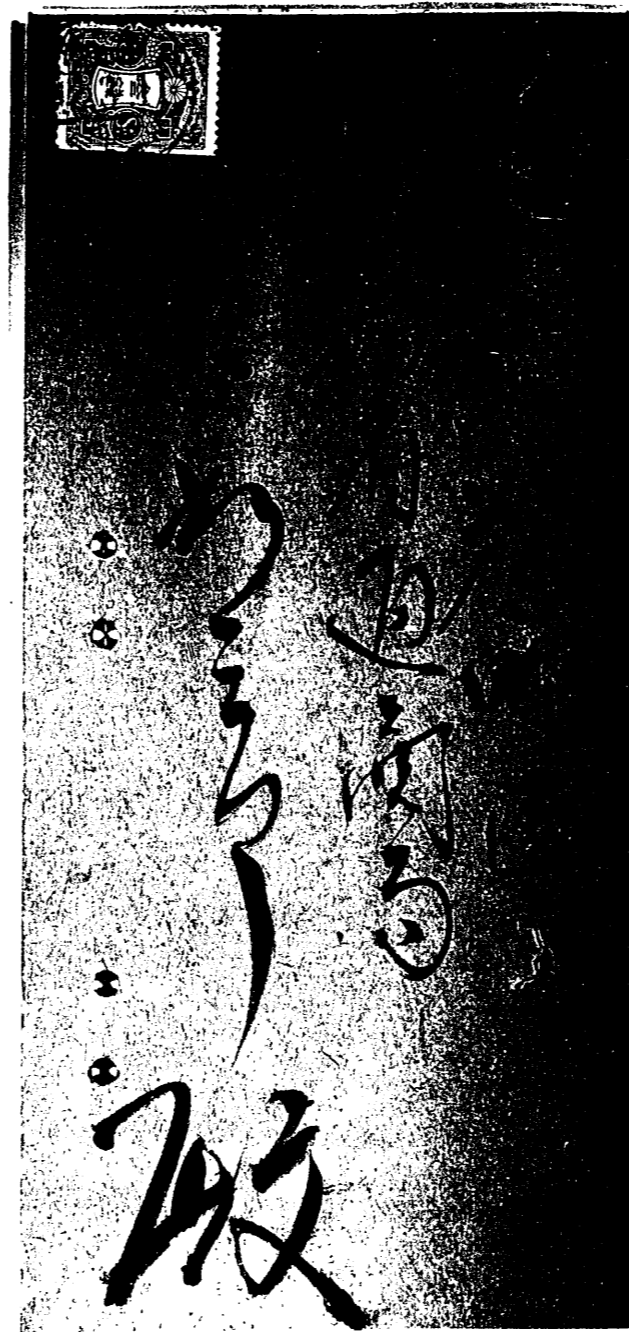


日 記 念 塔 建 設 會 長 水
 三 課 長 殿
 設 費 寄 附 金 三 圓 五 十 件
 日 種 上 御 面 御 相 煩 居
 日 附 貴 翰 以 御 示 教
 対 スル 淨 賦 募 集 一 口 金
 以 案 上 存 候 へ 貴 説
 賜 度 御 依 頼 申 上 候



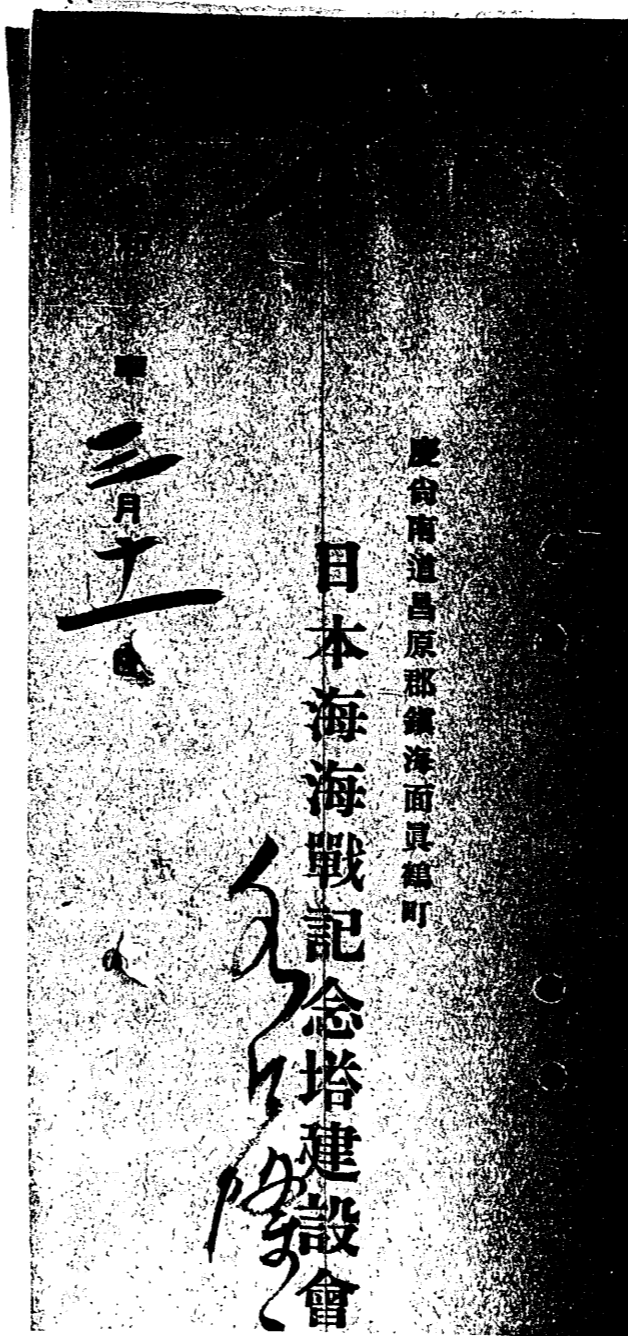
管
 日本海軍戦記念塔建設會

I-0403



I-0403





慶尚南道昌原郡鎮海面真鱈町

日本海海戦記念塔建設會

三月十一日

I-0403

次官

懸案

6114.413

文書課長

文書課發送

昭和四年三月八日發

淨書

正(原稿) 大越 (淨書)

(甲號用紙)

公信案

主 通商局長

任 第二課長 (起草部) 四年三月二十日

通二 普通

三〇四 號

大昭和四年三月五日 附

附屬書

通

23 126

受信 別表一通

發信 吉田外務大臣

件名 日本海々戰記念塔建設寄附
金募集ニ関スル件

名 込 綴

今般朝鮮慶尚南道知事水口隆三ヨリ日本海々戰二十
五周年ニ際シ洽ク國民全般ヨリ淨賦ヲ募集シ當時聯合
艦隊根據地タリシ鎮海灣ニ大記念塔ヲ建設シタキ趣ヲ

公信案

外務省

(原議用紙乙)

以下別紙趣意書相添、在外居留邦人ヨリモ右ニ対スル寄附金

募集方御配慮下、皆依頼越、貴官管内居留民ニ

右趣御傳達上、釀金取纏御送付可然御配書相煩度

追而右寄附金、本記念塔建設ノ主旨ニ

在外邦人、釀金モ、度且人取扱上、便宜、口金

五拾錢也ト定、付有標、可然御取計相成

度

外務省

3.2

I-0403

在外公館一覽表

(總數一四〇) 大使館 九
 (昭和參年貳月現在) 公使館 一五
 總領事館 三三
 領事館 五三
 分館 一三
 出張所 一〇
 商務官 六
 代表其他 三

在外公館

在英大使館	在里昂領事館	在巴奈馬領事館	在シドニー總領事館
在佛大使館	在安土府領事館	在里馬領事館	在シドニー總領事館
在獨大使館	在里港領事館	在墨公使館	在シドニー總領事館
在伊大使館	在馬耳塞領事館	在智利公使館	在シドニー總領事館
在白大使館	在ストツクホルム領事館	在伯公使館	在シドニー總領事館
在埃公使館	在未蘭領事館	在亞公使館	在シドニー總領事館
在蘭公使館	在桑港總領事館	在秘路公使館	在シドニー總領事館
在西公使館	在市俄古領事館	在紐育總領事館	在シドニー總領事館
在瑞典公使館	在ホーランド領事館	在桑港總領事館	在シドニー總領事館
在士大使館	在シヤトル領事館	在市俄古領事館	在シドニー總領事館
在波蘭公使館	在羅府領事館	在シヤトル領事館	在シドニー總領事館
在知惠古公使館	在オタワ總領事館	在ホノルル總領事館	在シドニー總領事館
在羅馬尼公使館	在晚香坡領事館	在オタワ總領事館	在シドニー總領事館
在希臘公使館	在聖市總領事館	在晚香坡領事館	在シドニー總領事館
在漢堡總領事館	在ベノスアイレス領事館	在聖市總領事館	在シドニー總領事館
	在リベロンプレト分館	在新嘉坡總領事館	在シドニー總領事館
		在香港總領事館	在シドニー總領事館
		在盤谷領事館	在シドニー總領事館
		在暹公使館	在シドニー總領事館
		在亞細亞南洋(二九)	在シドニー總領事館
		在暹公使館	在シドニー總領事館
		在盤谷領事館	在シドニー總領事館
		在香港總領事館	在シドニー總領事館
		在新嘉坡總領事館	在シドニー總領事館
		在馬尼刺總領事館	在シドニー總領事館

在露大使館	在支那公使館	在雲南領事館	在北支那(二四)	在通化分館
在浦潮總領事館	在上海總領事館	在宜昌領事館	在哈爾濱總領事館	在海龍分館
在亞港總領事館	在天津總領事館	在蕪湖領事館	在奉天總領事館	在張家口領事館
在ハバロフスク總領事館	在福州總領事館	在青島總領事館	在吉林總領事館	在滿洲里領事館
在武漢領事館	在漢口總領事館	在坊子出張所	在間島總領事館	在百草溝分館
在オデッサ領事館	在廣東總領事館	在博山出張所	在牛莊領事館	在帽兒山分館
在オムハ分館	在成都總領事館	在張店出張所	在安東領事館	
	在芝罘領事館		在遼陽領事館	
	在重慶領事館		在遼陽領事館	
	在厦門領事館		在長春領事館	
	在蘇州領事館		在齊々哈爾濱領事館	
	在杭州領事館		在赤峰領事館	
	在沙市領事館		在鄭家屯領事館	
	在長沙領事館		在新民府分館	
	在南京領事館		在局子街分館	
	在汕頭領事館		在頭道溝分館	
	在九江領事館		在理春分館	
			在農安分館	
			在梅鹿分館	

計百二十六

拜啓益々御清穆に段為邦家慶
賀に至に奉存候

却説明昭和四年五月二十七日は日本
海海戦第二十五回記念日に相當
するを以て此際別紙趣意書の通り
當時の聯合艦隊根據地たりし鎮
海灣に一大記念塔を建設し往年の
戦勝を永遠に記念すると共に國
民精神作興の一助たらしめ度希
望に有之候處此の擧たる素より
國民的事業にして洽く國民全
般より淨財を募集致度就て
は御多用中甚だ恐縮の至に有之
候、共右の趣意御賛助の上何分
の御盡力相煩度此段御願申上候

敬具

追而寄附金は成るべく國民全般より
募集致度希望に有之候條此點特
に御配慮相煩度別紙記念塔建
設會役員名簿相添及御依頼候

昭和 年 月 日

日本海海戦記念塔建設會長

水口 隆 三

却説明昭和四年五月二十七日は日本
海海戦第二十五回記念日に相當
するを以て此際別紙趣意書の通り
當時の聯合艦隊根據地たりし鎮
海湾に一大記念塔を建設し往年の
戦勝を永遠に記念すると共に國
民精神作興の一助たらしめ度希
望に有之候處此の擧たる素より
國民的事業にして洽く國民全
般より淨財を募集致度就て
は御多用中甚だ恐縮の至に有之
候へ共右の趣意御賛助の上何分
の御盡力相煩度此段御願申上候

敬具

追而寄附金は成るべく國民全般より
募集致度希望に有之候條此點特
に御配慮相煩度別紙記念塔建
設會役員名簿相添及御依頼候

昭和 年 月 日

日本海海戦記念塔建設會長

水口 隆 三

殿

一 寄附金ハ京城日報ニ記載シ一部御手許ニ送り受領証ニ代ヘマス
一 寄附金ハ整理ノ都合上 〇 月末日ニ迄ニ御送付ヲ願ヒマス

日本海海戰記念塔設立趣意書

日露ノ風雲急ヲ告クルヤ帝國海軍ハ明治三十七年一月十日ヲ以テ鎮海灣内松真浦ニ假根據地防備隊ヲ建設シ我出征艦隊ノ據点ヲ確定セリ是レ實ニ日露戰役ニ於ケル我海軍施設ノ第一步ニシテ又鎮海要港部ノ濫觴ナリ

爾來我海軍ノ作戰ハ旅順港口ノ閉塞、黄海及蔚山沖ノ海戰ト封鎖ノ強行ヲ以テ多年東洋ニ雄飛セシ露國東洋艦隊ヲ無能ナラシメ東洋ニ於ケル海上權ヲ獲得セリ是ヨリ先キ露國ハ旅順方面ノ戰勢ヲ挽回セントシ太平洋第二第三艦隊ヲ編成シ之ヲ東洋ニ派遣シテ我艦隊ト輪贏ヲ決セントシ其ノ一部ハ十月十五日ヲ以テ「リバウ」ヲ出發セリ明治三十八年一月旅順口ノ陥落スルヤ我艦隊ハ遠來ノ露國艦隊ヲ邀フル爲交々内地ニ歸還シテ兵器ヲ整備シ二月初旬ヨリ鎮海灣ニ集合シ爾後四ヶ月晝夜ヲ分タス奮勵努力銳意戰鬥力ノ向上充實ヲ計リ滿ヲ持シテ優勢ナル遠來ノ敵ヲ待チ遂ニ五月二十七日日本海海戰ニ到レリ即チ日本海ニ於ケル彼ノ曠古ノ大勝ハ實ニ鎮海灣ニ於ケル猛訓練ノ成績ニシテ鎮海灣ハ宛カモ昇天ニ先タチ蛟龍ノ影ヲ潛メタル深淵ニ似タリ

振古未曾有ナル日本海海戰ノ戰勝ハ日露戰爭ノ終局ヲ促シ其ノ結果我帝國ハ一躍シテ五大強國ノ班ニ列シ世界大戰ヲ經テ三大海軍國ノ一トナリ近年我海軍カ帝國ノ外交ニ千鈞ノ重力ヲ寄與シツツアルハ吾人ノ絮說ヲ要セサル所ナリ由是觀之鎮海灣ハ我海軍勢力發展ノ搖籃地ニシテ又近代ニ於ケル帝國隆昌ノ發祥地ナリト謂フモ蓋シ過言ニアラサルナリ

鎮海灣ノ包有スル大史實實ニ斯ノ如シ而カモ二十有余年後ノ今日鎮海灣澳何レノ邊ニ索ムルモ彼ノ大海戰ヲ記念スヘキ一碑一塔ノ存スルナキハ吾人ノ竊カニ之ヲ訝シム所ナリ

來ハ昭和四年ヲ以テ日本海海戰第二十五回記念日ヲ迎フルニ際シ我儕相謀リ鎮海面兜山山嶺ニ一大記念塔ヲ建立シ往年ノ戰勝ヲ記念シ永ク殉國將士ノ忠魂ヲ尊崇スルト共ニ鎮海灣ニ於ケル我艦隊ノ奮勵努力ヲ後昆ニ傳ヘ又以テ實質剛健ナル精神涵養ノ資ヲラシメントス而カモ此ノ

一二日ヲ以テ鎮海灣内松真浦ニ假根據地防備隊ヲ建設シ我
出征艦隊ノ據点ヲ確定セリ是レ實ニ日露戰役ニ於ケル我
海軍施設ノ第一歩ニシテ又鎮海要港部ノ濫觴ナリ

爾來我海軍ノ作戰ハ旅順港口ノ閉塞、黃海及蔚山沖ノ海
戰ト封鎖ノ強行ヲ以テ多年東洋ニ雄飛セシ露國東洋艦隊
ヲ無能ナラシメ東洋ニ於ケル海上權ヲ獲得セリ是ヨリ先
キ露國ハ旅順方面ノ戰勢ヲ挽回セントシ太平洋第二第三
艦隊ヲ編成シ之ヲ東洋ニ派遣シテ我艦隊ト輪贏ヲ決セン
トシ其ノ一部ハ十月十五日ヲ以テ「リバウ」ヲ出發セリ明
治三十八年一月旅順口ノ陷落スルヤ我艦隊ハ遠來ノ露國
艦隊ヲ邀フル爲交々内地ニ歸還シテ兵器ヲ整備シ二月初
旬ヨリ鎮海灣ニ集合シ爾後四ヶ月晝夜ヲ分タス奮勵努力
銳意戰鬥力ノ向上充實ヲ計リ滿ヲ持シテ優勢ナル遠來ノ
敵ヲ待チ遂ニ五月二十七日日本海海戰ニ到レリ即チ日本
海ニ於ケル彼ノ曠古ノ大勝ハ實ニ鎮海灣ニ於ケル猛訓練
ノ成績ニシテ鎮海灣ハ宛カモ昇天ニ先タチ蛟龍ノ影ヲ潛
メタル深淵ニ似タリ

振古未曾有ナル日本海海戰ノ戰勝ハ日露戰爭ノ終局ヲ促
シ其ノ結果我帝國ハ一躍シテ五大強國ノ班ニ列シ世界大
戰ヲ經テ三大海軍國ノ一トナリ近年我海軍カ帝國ノ外交
ニ千鈞ノ重力ヲ寄與シツツアルハ吾人ノ絮說ヲ要セサル
所ナリ由是觀之鎮海灣ハ我海軍勢力發展ノ搖籃地ニシテ
又近代ニ於ケル帝國隆昌ノ發祥地ナリト謂フモ蓋シ過言
ニアラサルナリ

鎮海灣ノ包有スル大史實實ニ斯ノ如シ而カモ二十有余年
後ノ今日鎮海灣澳何レノ邊ニ索ムルモ彼ノ大海戰ヲ記念
スヘキ一碑一塔ノ存スルナキハ吾人ノ竊カニ之ヲ訝シム
所ナリ

來ル昭和四年ヲ以テ日本海海戰第二十五回記念日ヲ迎フ
ルニ際シ我儕相謀リ鎮海面兜山山嶺ニ一大記念塔ヲ建立
シ往年ノ戰勝ヲ記念シ永ク殉國將士ノ忠魂ヲ尊崇スルト
共ニ鎮海灣ニ於ケル我艦隊ノ奮勵努力ヲ後昆ニ傳ヘ又以
テ實質剛健ナル精神涵養ノ資タラシメントス而カモ此ノ
舉タル素ヨリ國民的事業ニシテ一部地方人士ノ私スヘキ
ニアラサルヲ信シ爰ニ之ヲ公表ス
冀クハ大方ノ諸彦御贊同アラシコトヲ

日本海海戰記念塔建設會役員名簿

總裁 朝鮮總督府政務總監 池上四郎
名譽會長 鎮海要港部司令官 清河純一
會長 鎮海要港部司令官 櫻井源之助
副會長 朝鮮慶尚南道知事 水口隆三
理事 鎮海要港部參謀長 久保忠道
 朝鮮慶尚南道評議員 松尾重信
 鎮海要港部主計長 伊藤勇雄
理事 鎮海面長 織田選

顧問

元帥	伯爵	東郷平八郎	內閣總理大臣	男爵	田中義一
樞密院議長	法學博士	倉富勇三郎	兼外務大臣	男爵	白川義則
海軍大臣	男爵	岡田啓介	陸軍大臣	男爵	望月圭助
文部大臣	男爵	勝田主計	內務大臣	男爵	久原房之助
朝鮮總督	男爵	山梨半造	逓信大臣	男爵	後藤新平
前文部大臣	男爵	水野鍊太郎	伯爵	男爵	林權助
參謀總長	男爵	鈴木孝六	軍事參議官	男爵	井上幾太郎
軍事參議官	男爵	鈴木孝雄	朝鮮軍司令官	男爵	金谷範三
軍事參議官	男爵	財部彪	軍令部長	男爵	鈴木寬太郎
軍事參議官	男爵	竹下勇	駐英全權大使	男爵	松平恒雄
軍事參議官	男爵	加藤寛治	聯合艦隊司令官	男爵	谷口尚真
陸軍大將	男爵	安保清種	帝國在郷軍人會長	男爵	一戸兵衛
陸軍大將	男爵	內山小二郎	海軍大將	男爵	河合操
陸軍大將	男爵	森岡守成	海軍大將	男爵	瓜生外吉
海軍大將	子爵	有馬良橘	海軍大將	男爵	山屋他人
海軍大將	子爵	齋藤實	海軍大將	男爵	山下源太郎
海軍大將	子爵	百武三郎	吳鎮守府司令官	男爵	大谷幸四郎
橫須賀鎮守府司令官	男爵	山本英輔	第十九師團長	男爵	渡邊善
第二十師團長	男爵	上原平太郎	佐世保鎮守府司令官	男爵	飯田延太郎
第二艦隊司令官	男爵	大角岑生	貴族院議員	男爵	兒玉秀雄
海軍中將	侯爵	佐藤鐵太郎	外務省情報局長	侯爵	小村欣一
中樞院副議長	侯爵	朴泳孝	山下汽船會社社長	侯爵	山下龜三郎
貴族院議員	侯爵	湯淺倉平	法學博士	侯爵	松波仁一郎
大倉組支配人	侯爵	門野重九郎	朝鮮銀行總裁	侯爵	加藤啓三郎
朝鮮殖産銀行頭取	侯爵	有賀光豊	大阪朝日新聞社社長	侯爵	村山龍平
大阪朝日新聞社社長	侯爵	本山彦一	時事新報主筆	法學博士	板倉卓造
京城日報社社長	侯爵	松岡正男	朝鮮新聞社社長	法學博士	牧山耕藏
朝鮮總督府內務局長	侯爵	生田清三郎	朝鮮總督府財務局長	法學博士	草間秀雄
朝鮮總督府專賣局長	侯爵	今村武志	全	法務局長	松寺竹雄
全	侯爵	李 軫	全	警務局長	大村卓一
全	侯爵	山本犀造	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	園田 寛	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	篠田治策	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	中村竹藏	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	宮本 誠	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	東郷吉太郎	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	河田四十一	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	千坂智次郎	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	飯田久恒	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	吉川安平	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	米田甚太郎	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	韓 圭 復	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	石 鎮 衡	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	朴 相 駿	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	青木 戒三	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	安達房治郎	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	大泉製之助	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	和田 一 郎	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	澤田 豊 犬	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	山脇 延 吉	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	迫間房太郎	全	鐵道局長	韓 昌 洙
全	侯爵	渡邊 定 一 郎	全	鐵道局長	韓 昌 洙

(順序不同)

總裁 朝鮮總督府政務總監 池上四郎
名譽會長 鎮海要港部司令官 清河純一
會長 鎮海要港部司令官 櫻井源之助
副會長 朝鮮慶尚南道知事 水口隆三
理事 鎮海要港部參謀長 久保忠道
 朝鮮慶尚南道評議員 松尾重信
 鎮海要港部主計長 伊藤勇雄
 鎮海面長 織田選

顧問

元帥 伯爵 東郷平八郎
 樞密院議長 陸軍大臣 倉富勇三郎
 海軍大臣 岡田啓介
 文部大臣 勝田主計
 朝鮮總督 山梨半造
 前文部大臣 水野鍊太郎
 參謀總長 伯爵 鈴木孝六
 軍事參議官 鈴木孝雄
 軍事參議官 財部 彰
 軍事參議官 竹下 勇
 軍事參議官 加藤 寛治
 軍事參議官 安保 清種
 陸軍大將 內山小二郎
 陸軍大將 森岡 守成
 海軍大將 有馬 良橘
 海軍大將 齋藤 實
 海軍大將 百武 三郎
 橫須賀鎮守府司令長官 山本 英輔
 第二十師團長 上原 平太郎
 第二艦隊司令長官 大角 岑生
 海軍中將 佐藤 鐵太郎
 中樞院副議長 侯爵 朴 泳孝
 貴族院議員 湯淺 倉平
 大倉組支配人 門野 重九郎
 朝鮮殖産銀行頭取 有賀 光豊
 大阪毎日新聞社長 本 山彦一
 京城日報社長 松岡 正男
 朝鮮總督府內務局長 生田 清三郎
 全 殖産局長 今村 武志
 全 學務局長 李 軫鎬
 全 逓信局長 山本 犀造
 全 山林部長 園田 治寬
 李王職次官 篠田 竹藏
 朝鮮高等法院檢察長 中村 竹藏
 朝鮮總督府專賣局長 松本 竹藏
 海軍中將 宮岡 直記
 海軍中將 東郷 吉太郎
 陸軍中將 河田 四十一
 海軍中將 千坂 智次郎
 海軍中將 飯田 久恒
 海軍中將 吉川 安平
 京畿道知事 米田 甚太郎
 忠清北道知事 韓 圭復
 全羅南道知事 石 鏡 衡
 黃海道知事 朴 相 駿
 平安南道知事 青木 戒三
 咸鏡北道知事 安達 房治郎
 陸軍少將 大泉 製之助
 朝鮮商業銀行頭取 和田 一郎
 朝鮮殖産會社理事 澤田 豊犬
 兵庫縣々會議長 山脇 延吉
 釜山商業銀行重役 追間 房太郎
 聯合會々長 渡邊 定一郎
 內閣總理大臣 男爵 田中 義一
 陸軍大臣 白川 義則
 內務大臣 望月 圭助
 逓信大臣 久原 房之助
 伯爵 後藤 新平
 軍事參議官 林 權助
 朝鮮軍司令官 井上 幾太郎
 軍令部長 金谷 範三
 駐英全權大使 鈴木 寛太郎
 聯合艦隊司令長官 松平 恒雄
 帝國在郷軍人會長 谷口 尚真
 陸軍大將 河合 兵衛
 海軍大將 瓜生 外吉
 海軍大將 山屋 他人
 海軍大將 山下 源太郎
 吳鎮守府司令長官 男爵 大谷 幸四郎
 第十九師團長 渡邊 善
 佐世保鎮守府司令長官 飯田 延太郎
 貴族院議員 伯爵 兒玉 秀雄
 外務省情報局長 侯爵 小村 欣一
 山下汽船會社々長 山下 龜三郎
 法學博士 松波 仁一郎
 朝鮮銀行總裁 加藤 啓三郎
 大阪朝日新聞社長 法學博士 村山 龍平
 時事新報主筆 法學博士 板倉 卓造
 朝鮮新聞社長 牧 山耕藏
 朝鮮總督府財務局長 草間 秀雄
 全 警務局長 松寺 竹雄
 全 鐵道局長 大村 卓一
 李王職長官 韓 昌 洙
 朝鮮高等法院長 橫田 五郎
 朝鮮總督府土地改良部長 日下 部道徳
 朝鮮憲兵司令官 上 泉 徳彌
 海軍中將 山口 九十郎
 海軍中將 曾田 孝一郎
 海軍中將 山路 一善
 海軍中將 松村 菊男
 海軍中將 長澤 直太郎
 忠清南道知事 申 錫 麟
 全羅北道知事 渡邊 忍
 慶尙北道知事 須藤 素
 平安北道知事 谷 多 磨
 江原道知事 俞 星 滄
 咸鏡南道知事 中野 大三郎
 海軍少將 松崎 直
 朝鮮火災保險會社々長 河内 山樂三
 釜山商業會議所會頭 香椎 源太郎
 慶尙南道評議員 大池 忠助
 實業家 富田 儀作
 善隣會院顧問 宮島 大八

(順序不同)

會 國 院
會 會 法
會 會 法

院 院 院 院 院
院 院 院 院 院
院 院 院 院 院
院 院 院 院 院
院 院 院 院 院
院 院 院 院 院
院 院 院 院 院
院 院 院 院 院

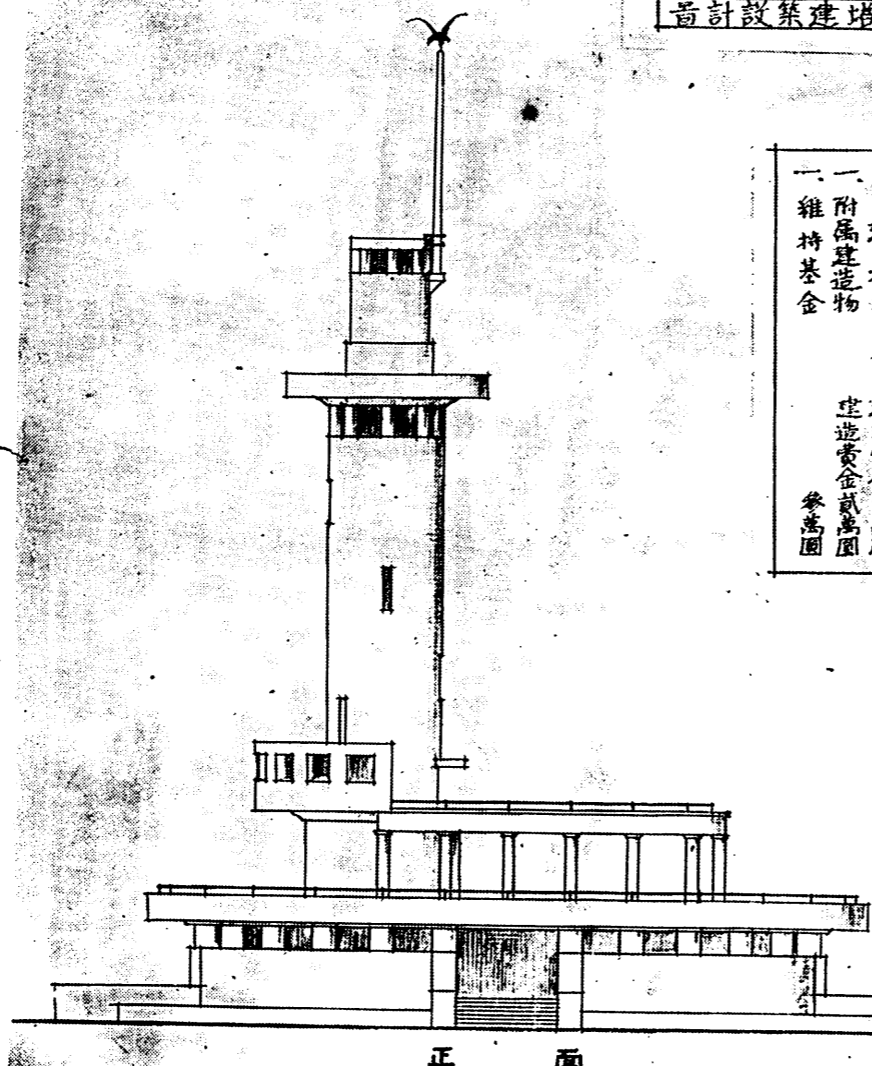
院 院 院 院 院
院 院 院 院 院
院 院 院 院 院
院 院 院 院 院
院 院 院 院 院
院 院 院 院 院
院 院 院 院 院
院 院 院 院 院

3
20
22
25
18.7
7
120

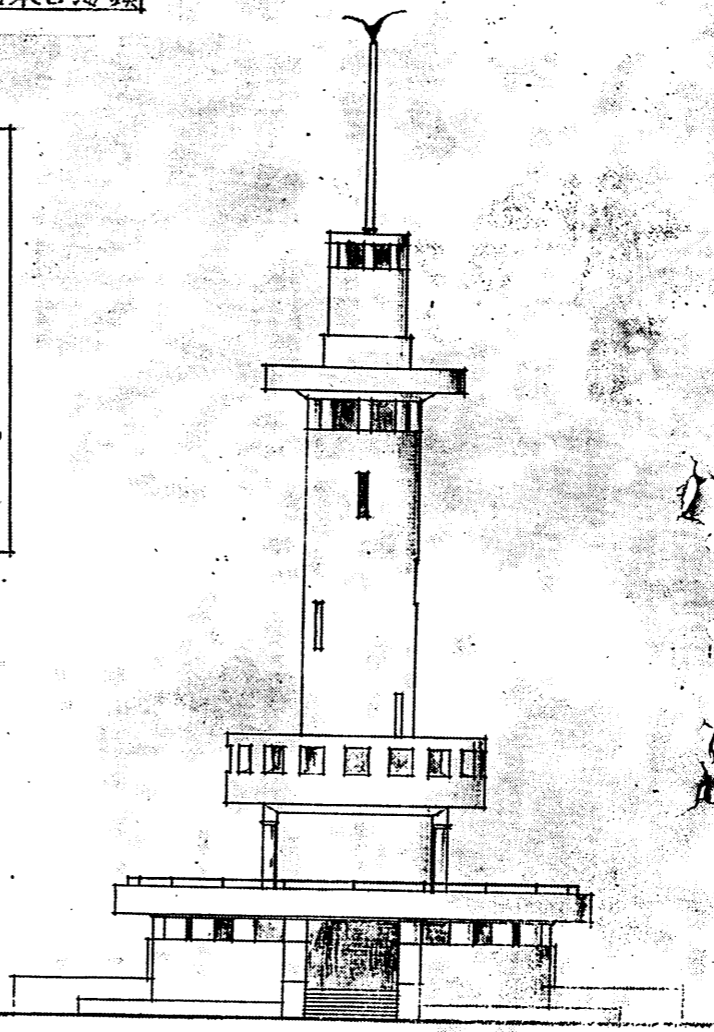
I-0403

鎮海日本海軍戦記記念塔の設計案

鎮海日本海軍戦記記念塔其他設計案
 一 紀念塔(鉄骨鉄筋コンクリート造)
 塔総高、百拾貳尺、建築費金七萬圓
 一 紀念館(練瓦鉄筋コンクリート造)
 建築費金八萬圓
 一 附屬建造物
 建築費金貳萬圓
 一 維持基金
 參萬圓

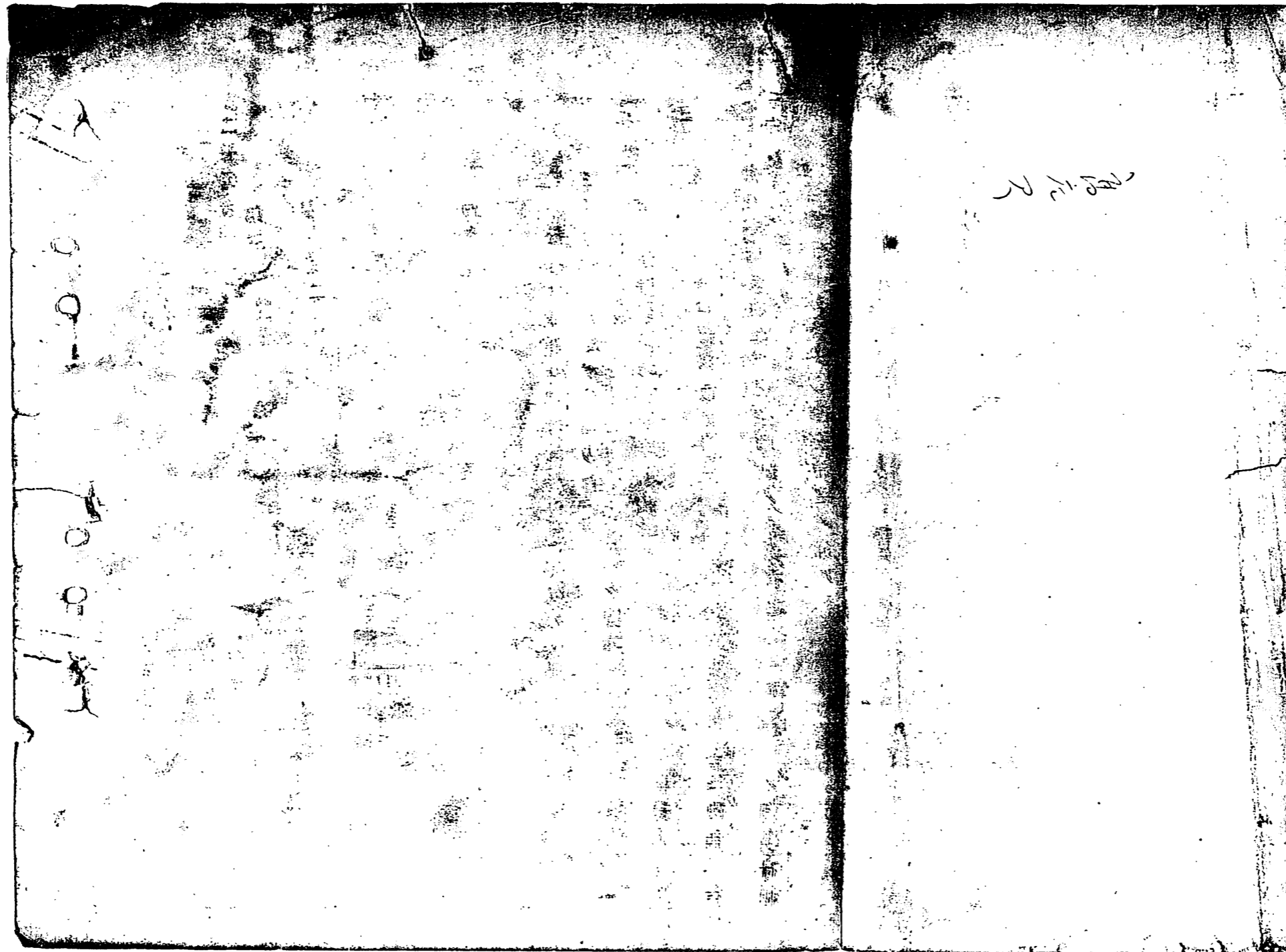


正面



側面

I-0403



I-0403